

《史料紹介》相馬永胤「巡回日記」(続)

七月十九日ヨリ八月八日ニ至ル

午前八時二起キ朝飯ヲ喫セリ、今朝モ風邪尚ホ不癒、咽喉ノ痛モ未タ全ク去ラサレハ在宿シテ加養セント欲シタレトモ、今日ハ日本ヘノ郵便日ニテ種々要事アレハ押シテ銀行ニ出掛ケ午後七時ニ帰宿セリ、本日ハ銀行本店并ニ留守宅ヘ書状ヲ出セリ、又帰途松田氏ヲ下宿ヘ伴ヒ来リテ同氏身上之事ニ付談話ヲ為セリ、夕飯後ハ在宅シテ加養セリ、本日遠眼鏡ヲ求メタリ

二十日

午前八時二起キ朝飯ヲ終リ松尾氏ト共近傍ヲ散歩シ、昨日買来リシ遠眼鏡ヲ試験セリ、夫ヨリ銀行ニ行キ午後四時ニ同行ヲ去リ、市中ヲ散歩シ七時過ニ帰宿セリ、昨夜モ充分ニ安眠スルヲ得ス、近来大ニ身体ノ疲労ヲ感シタレハ、保養ノ為メヘイステングト云所ヘ行クコトニ決シ、本日ヨリ其支度ニ取掛レリ、又薬師ノ勸メニ従ヒ毎日ボールトワインヲ少々宛用ユルコトニ為セリ、夕飯後ハ外出セス在宿シテ加養セリ

二十一日

午前八時二起キ朝飯ヲ喫シ荷物等ノ方付ヲ為シ、十二時半頃ヨリ松尾氏ト共ニタルスヒールヲ出立シ龍動橋停車所ニ行キ、同所ヨリ午後二時ノ

益満隆行 (文学研究科博士後期課程)  
鈴木慎哉 (文学研究科修士課程)  
大谷正 (文学部教授)

汽車ニテヘイステングニ行キタリ、ヘイステングハ龍動ヨリ南方ニ当ル海岸ニテ、暑寒共病人又ハ遊興人等ノ沢山出掛ケル場所ニテ龍動ヨリ百哩以上アル所ナリ、余等ノ同所ヘ着セシハ午後四時半過ナリ、停車所ヨリ馬車ヲ雇ヒ直ニグロブナルホテル云旅館ニ投宿セリ、同家ハ下宿屋同様ニテ立派旅館ニハ非レトモ、中井氏等ノ嘗テ投宿セシコトアリシコトヲ聞キ其因ヲ以テ行キタルナリ、同家ハ随分何ヤラ不潔ラシク見ヘタレトモ、食物杯ハ可也好シ、同所着スルヤ直ニ海岸ノ散歩ニ出掛ケニ哩程散歩セリ、同所ハ南ニ海ヲ受ケ其海岸ニ二哩余ノ散歩場アリテ、馬車路ノ往来ヲ隔テ旅館、下宿屋、商店等連軒スル所ニテ、又夫ヨリ東北ニ向ヒ縦横ニ往還在リテ中々広大ナル場所ナリ、先ツ日本ニテ云ヘハ大磯トカ熱海トカ云フ様ナル所ナレトモ、其壮大ナルコトハ同日ノ比ニ非ルナリ、夕飯後モ散歩ニ出掛タレトモ雨ヲ催シケレハ、中井氏ヘ電信ヲ発シ匆々ニシテ帰宿セリ

二十二日

午前七時二起キ海岸ヲ散歩シ朝飯ヲ喫シ、夫ヨリ過日来当所ヘ来リ居ル岡村氏、六郷氏等ヲ訪ヒ暫時談話シ、午後ヨリ馬車ニテ何レヘカ行カンコトヲ約シ帰宿セリ、今朝八時宜ニ依リ中井氏龍動ヨリ来遊スヘキ筈ナ

リシカハ、午後迄待居タレトモ岡村氏来ラス、其内岡村氏等来訪セラレタレハ、馬車ヲ雇ヒ岡村、六郷、松尾并余四人ニ而バトルアベイト云所へ出掛ケタリ、同所迄ハ九哩程アリテ途中ノ景色等甚妙ナリシカ、本日ハ日曜日ニテ同所ノ構内ニ入ルコトヲ得ス遺感ナリシ、同所ハ昔シウリエムカンカアルカ英國へ侵入セシ時、サクソン兵ト大戦争ヲ為シ終ニサクソン王ノ打死セシ所ニテ、目下或貴族ニ属スル公園ニシテ古キ宮殿アル当国ニテ有名ナル場所ナリ、夫ヨリ帰途所々見物シ午後六時半ニ帰宿セリ、夕飯後モ亦海岸ヲ散歩シ十時過ニ寝ニ就ケリ、本日ハ昨日ヨリ少々気分好ク感シタリ

二十三日

昨夜ハ夜半ヨリ夢ヲ見ルコト多クシテ安眠ヲ得サリシノミナラス、終ニ手足ノ寒冷ヲ催シ多少脳ニ充血ヲ感シタレハ、起キテポールトワインヲ服用セシモ終ニ今朝迄安眠ヲ得ス、大ニ疲労ヲ感シ幾分気分悪敷カリシカ、押シテ八時過ニ起キ海岸ヲ散歩シ朝飯ヲ食ヒ、夫ヨリ散歩シテ岡村氏等ノ住所ヲ訪ヒタリ、午後モ亦何レヘカ散歩セントセシカ、雨ヲ催セシヲメ岡村氏等ト玉突屋ヘ行玉突ノ遊ヲ為シ六時過ニ帰宿セリ、本日モ何気分悪敷又胃部ノ工合不宜レハ医師ノ診察ヲ乞ハントセシカ、岡村氏等ノ勸メニ依リ先ツハニヲダウヲトルト称スル下剤ノ水薬ヲ用ヒ、其結果ニ依リ医師ノ診察ヲ受クルコトトナシ其水薬ヲ求メタリ、夕飯後モ微雨尚ホ止マサリシカ海岸ヲ散歩シ十時過ニ寝ニ就ケリ、本日留守宅ヨリ六月十八日出ノ書状ヲ受取リタリ、又中井氏ヨリ書状并ニ電報ヲモ受ケ取リタリ

二十四日

昨日ハ頻リニ運動シ食物ヲ控ヘタル為メカ、昨夜ハ安眠スルヲ得タリ、今朝ハ七時ニ起キ昨日求メ置キタル下剤水薬ヲ用ヒ再ヒ寝ニ就キ、九時

頃ニ起キ朝飯ヲ少々食スレハ間モナク便氣ヲ催シ、兩度便所ニ通ヒタレハ大ニ快氣ヲ覺ヘタリ、午前ハ海岸ヲ散歩シ午後ハ当所ノ旧城跡ヲ見物シ山手ヲ散歩セリ、又夕飯後ハ海岸ヲ散歩セリ、本日中午ヨリ電信并書状ヲ以テ朝鮮ノ近状ヲ報告シ呉レタリ、又日本ヨリノ新聞紙モ受取リタリ、本日發行ノ龍動新聞紙ノ報スル所ニヨレハ日本ト支那ト兵端ヲ開キタルモノ、如シ、余ハ為メニ大ニ杞憂ヲ催セリ

廿五日

午前七時ニ起キ海岸ヲ散歩シ朝飯ヲ喫シ、岡村氏ヲ訪ハントシテ松尾氏ト共ニ出掛ケタレハ途中ニテ岡村氏等ニ出逢ヒ、夫ヨリ共ニ当所ノ公園ヲ散歩シ十二時頃ニ帰宿セリ、当所ノ公園ハ随分広キ場所ナレトモ未タ充分ニ手入り居ラス、只花物類ハ中々沢山アリ、帰宿後午飯ヲ喫シ日本新聞紙ヲ讀ミ居タレハ岡村氏等来訪、夫ヨリ松尾氏等四人ニテ旧城山ニ在ル洞穴ノ見物ニ出掛ケタリ、此洞穴ハ何レノ世ニ掘リタルモノナルヤ分ラサレトモ、其中ノ広キコト何千疊敷ナルヤヲ知ラス、又其内ヲ教室ニ仕切アリテ総体砂石ニテ成立居レリ、其洞内ノ様子ニ依リテ考フレハ往古海賊等ノ住居セシ所ナルヘシ、夫ヨリ帰途玉突屋ニ立寄り暫時玉突ノ遊ヲ為シ六時過ニ帰宿セリ、夕飯後モ亦海岸ヲ散歩シ十一時ニ寝ニ就ケリ、本日ハ病氣大ニ快方ニ感セリ、又中井氏ヨリ朝鮮ノ事并上海送銀碗ノコトニ付書状ヲ得タリ

廿六日

昨夜ハ安眠ヲ得タレトモ明ケ方ヨリ寒冷ヲ増シ、被套ノ薄カリシ為メ身体充分ニ暖ナラスシテ少シク風邪ヲ引返シタル如ク感セリ、去レトモ七時半ニ起キ日常ノ如ク冷水ニテ身体ヲ拭ヒ、支度ヲ整ヒ海岸ヲ散歩シ新聞紙ヲ讀ミ朝飯ヲ喫セリ、今朝ハ岡村、松尾氏等ト共ニ魚釣ニ出掛ケル約束ナリシモ風邪ノ気味ナレハ之ヲ断リ海岸ヲ散歩セリ、両氏等ハ魚釣

二出掛ラレタレトモ差シタル獲物ナクシテ帰来セリ、午後モ亦岡村、松尾氏等ト共海岸ヲ散歩シ夕飯ヲ喫シ、又玉突屋へ行き玉突ノ遊ヲ為シ、夫ヨリ暫時海岸ヲ散歩シ十一時ニ帰宿セリ、本日モ亦中井氏ヨリ書状ヲ受取りタリ

廿七日

例刻ニ起キ海岸ヲ散歩シ、朝飯後岡村氏等ト共二端船ヲ從ヘ十二時頃迄運動セリ、又午後ハ岡村、松尾氏等ト共二魚釣ニ出掛ケ少々ノ獲物アリタレハ、岡村氏ヲ誘ヒ来リテ共ニ夕飯ヲ喫セリ、夕飯後共ニ海岸ヲ散歩シ十一時頃ニ寝ニ就ケリ、本日留守宅へ書状ヲ出セリ、又今朝ハ中井氏ヨリ日支間ノ戦争愈始リタリト電報セリ

廿八日

例刻ニ起キ海岸ヲ散歩シ朝飯ヲ終レハ岡村、六郷氏等来訪、同氏等ハ本日午後ヨリ龍動へ帰ルヘキ旨ヲ告ケラレタリ、余は夫ヨリ松尾氏ト共ニ公園ヲ散歩シ十二時ニ帰宿セリ、昼飯後松尾氏ハ岡村、六郷氏等見送ノ為メ同氏等ノ住所ニ行ケリ、又余ハ本日午後中井氏龍動ヨリ当所へ来ルヘキ筈ナレハ其迎ニ停車所へ行キタリ、其内松尾氏モ同所ニ来リ待ツコト暫クスル内中井氏来着、共ニ下宿へ来リ談話シ夕飯ヲ喫シ共ニ海岸ヲ散歩シ、十一時ニ寝ニ就ケリ、本日長崎、高木三郎、新井総一郎氏等へ書状ヲ出セリ

廿九日

午前七時ニ起キ中井氏ト共ニ魚市場迄散歩セリ、本日ハ日曜日ニテ市場ハ休業ナレトモ、其近所ニテ舟ヨリ陸揚シ居タル魚類ハ中々沢山アリテ、其種類ハ鯖トカレイナリ、朝飯後小舟ヲ雇ヒ中井、松尾氏等ト共ニ之レニ棹シ旅路三哩程アルフイヤイトト云所へ行キ、同所ニテ上陸シ其近傍ヲ見物セリ、同所ニハ樹木ノ繁茂シタル谷合アリ、又海面ヲ眼下

ニ見下ス断岸絶壁アリテ中々風景ノ好キ場所ナリ、同所ヲ一時間余散歩シ再び舟ニ棹シテ帰宿セリ、午後ハ馬車ニテバクスヒールト云所へ遊乗ニ出掛ケル筈ナリシカ、大ニ雨ヲ催セシ為メ一時見合居タレトモ、更ニ止ムヘキ模様ナケレハ遂ニ雨ヲ侵シテ乗リ出シタリ、然シ途中往キ帰リ共降雨甚シクシテ更ニ車窓ヲ開クヲ得ス、唯バクスヒールニテ旅館ニ一休シテ茶ヲ吞ミタルノミニテ、碌ニ途中并先方ノ景色ヲ見物スルヲ得サリシナリ、此時松尾氏左ノ一句得タリ

「景色モ四角ニ詠ム馬車ノ中」  
(詠カ)

是レハ馬車ノ角窓ヨリ景色ヲ見タルノミナレハナリ

午後六時頃ニ帰宿シ、夕飯ヲ喫スレハ雨止ミタレハ、一同打揃テ海岸ヲ散歩シ、十一時ニ寝ニ就ケリ

三十日

中井氏ハ今朝龍動へ帰ルコトナレハ、余ハ午前七時ニ起キ松尾氏ト共ニ中井氏ヲ停車所迄見送り帰リテ朝飯ヲ喫セリ、夫ヨリ余ハ松尾氏ト共ニ小汽船ニ乗リイストポルト云所へ行キタリ、同所ハヘイスティングヨリ二十哩程アル所ニテ海岸続ナリ、又同所ハヘイスティングヨリ一層立派ナル所ニテ、上等ノ遊客沢山出掛ル所ナリ、同所ヲ大凡五時間程アチコチ徘徊シ六時頃ニヘイスティングニ帰レリ、同所ハ先年余当国ニ在リシ時銀行ノ社員ヲ誘ヒテ見物シタルコトアリ、本日ハ船中ニテ雨ニ逢ヒタレトモ上陸後ハ雨止ミテ好都合ナリシ、夕飯後モ亦松尾氏共ニ海岸ヲ散歩セリ、中井氏龍動ニ帰リシ後、朝鮮ノ模様ヲ電報セリ

三十一日

例刻ニ起キ海岸ニ出レハ天気晴朗微風水烟ヲ払ヒ海上ノ景色実ニ絶美ナリ、一時間程散歩シ朝飯ヲ喫シ夫ヨリ馬車ヲ雇ヒ、松尾氏ト共ホーリングト云所へ行キ田舎ノ景色ヲ見物セリ、同所ニハ別ニ見物スルモノ

モナカリシカ有名ナル一軒ノ古寺アリタリ、同所迄ハ三哩程アリテ二時間余遊乗シ十二時頃ニ帰宿セリ、午後小舟ヲ雇ヒ松尾氏ト共垂釣ニ出掛タレトモ、間モナクシテ雨ヲ催シタレハ小魚十五六尾ヲ獲テ帰宿セリ、夕飯後又海岸ヲ散歩シ十二時ニ寝ニ就ケリ

八月一日

例刻二起キ本日ハ龍動へ帰ル積リナレハ、先ツ第一ニ荷物ヲ仕舞、夫ヨリ海岸ヲ散歩シ朝飯ヲ喫シ、十時ニ旅館ヲ立出、十時半ノ汽車ニテ松尾氏ト共ニ龍動ニ帰レリ、龍動橋ノ停車所ニ着スレハ既ニ一時過ナレハ、途中ニテ午飯ヲ食シ銀行ニ行キ要事ヲ弁シ、園田氏并留守宅へノ書状ヲ認メ本日ノ郵便ニ出シ、午後七時過ニタルヒイノ下宿へ帰レリ、本日本上海ノ支店ヨリ日支開戦ノ公告アリタル旨電報アリタリ、夕飯後近所ヲ散歩シ十一時ニ寝ニ就ケリ

二日

例刻二起キ散歩シ朝飯ヲ食ヒ直ニ銀行ニ行キタリ、本日本店ヨリ日支開戦争始マルヘシ然シ未タ開戦ノ布告ナキ旨電報アリタレトモ、当地ノ新聞紙上ニテハ日本政府ヨリ支那ト開戦ノ旨各国公使へ通知シタル由記載アレハ、其実否ヲ確メン為メ中井氏ト共ニ公使館ニ行キ尋ネタルニ、日本政府ヨリ各国へハ既ニ通知アリタル趣ナリ、依テ本店ヨリノ電信ハ日本政府カ未タ人民ニ対シテ布告セスト云意ナラント解釈セリ、今日当地ノ新聞紙ニハ日本軍艦カ支那兵ヲ運送スル英国船ヲ撃沈メタルコト、并朝鮮陸地ニテ日支開戦、日本方ニテ千五百人又二千死傷アリタル旨ヲ記載シ、日本ノ所為ニ対シ大ニ攻撃ヲ為セリ、全体今回日本カ朝鮮へ出兵セシハ日本人保護ノ為メナレハ固ヨリ当然ナレトモ、之ヲ機トシテ支那ト戦争ヲ求ムルニ到リテハ、其名義ノ何タルハ知ラサレトモ日本ノ為メ大ニ不利益ナリト信ス、然リトモ事既ニ茲ニ到レハ日本ノ為メ好結

果ヲ希望セサルヲ得ス、依テハ当地ノ新聞紙上ニ日本ニ対スル悪口ヲ置キ立テタルヲ見レハ不快ニ堪ヘサルナリ、午後七時ニ帰宿シ夕飯後微雨降り居タレトモ松尾氏ト共ニ中井氏ノ宅迄散歩シ、十一時ニ帰宿セリ、本日ゾボンヲ注文シ置キタリ

三日

例刻二起キ散歩シ朝飯ヲ食ヒ直ニ銀行ニ出掛ケタリ、本日本上海支店ヨリ日本、支那、朝鮮ニテ開戦、日本陸軍勝利トノ電信到着シテ少シク自ラ慰スルヲ得タリ、然シ当地ノ新聞紙ハ日本軍艦カ英戦<sup>(船)</sup>ヲ撃沈メタル事ニ付、頻リニ日本ニ対シ攻撃ヲ為セリ、午後六時過帰宿スレハ間モナク青木氏来訪、同氏身上ノ事ニ付種々談話シ、十時過同氏ヲ停車所迄送り、十一時ニ帰宿セリ

四日

明日ヨリ二日間銀行休業ナレハ、中井氏等ト共ニ何レヘカ旅行センコトヲ約セシカハ、例刻二起キ旅行ノ支度ヲ整ヘ朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、中井氏等ハ今夕ヨリスコトランドノエデンバロヲト云所へ行キ度様子ナレハ、余ハ同行ヲ断リ午後六時ニ帰宿セリ、余ハ松尾氏ト共ニ近所ノ公園ヲ散歩シ、又夕飯後モ近傍ヲ散歩セリ、本日留守宅并豊島氏ヨリ書状ヲ受取り又日本新聞紙モ到着セリ

五日

例刻二起キ近傍ヲ散歩シ朝飯後松尾氏ト共ニダララバアクト称スル当所ヨリ一里計アル所ノ公園ニ出掛ケ、同園ヲ散歩シ十二時過ニ帰宿セリ、同園ハ田舎ノ公園ニシテハ立派ナルモノニテ花物杯ハ中々沢山アリ、午後ハ松尾氏ト共ニ龍動市中ノリジエンドバアクト云公園ニ出掛ケ、二時間余同園内ヲ散歩シ八時頃ニ帰宿セリ、同園ハ龍動近傍ニテハ第一ニ等二位スル公園ニテ中々広大ニシテ立派ナルモノナリ、其内ニ世界第一

トモ云ハル、動物園アレトモ、本日ハ日曜日ニテ入場ヲ得サリシナリ、夕飯後ハ降雨甚敷シクシテ散歩スルヲ得ス、在宅シテ昨日来リタル日本新聞紙ヲ読ミタリ、本日ハ終日頭部并胃部ノ工合悪敷リシガ、夜半ヨリ手足ノ寒冷ヲ感シ安眠スルヲ得ス、大ニ苦シミタリ

六日

本日ハ当国一般ノ銀行休業日ト称スル日ニテ諸商店休業シ雇人等ノ休課ヲ得ル日ナレハ、多人數諸方へ出掛ケル日ナリ、余ハ昨夜ヨリ不快ノ為メ午前九時迄寝ニ在リ、夫ヨリ起キテ少々朝飯ヲ食ヒ松尾氏ト共ニ近所ヲ散歩シ、午後モ亦近傍ヲ散歩セシノミニテ何レヘモ出掛ケサリシナリ、本日ハ午後ヨリ馬車ニテ何レヘカ遊乗セントセシモ、馬車屋ノ馬車ハ何レモ出切ニテ行クコトヲ得サリシナリ、夕飯後モ亦近所ヲ散歩シ新聞紙ヲ読ミ、十一時ニ寝ニ就ケリ、今夜ハ湯タンプヲ入レタル為メカ、終夜暖カニシテ安眠スルヲ得タリ

七日

午前七時ニ起キ近傍ヲ散歩シ朝飯ヲ喫セリ、今朝ハ昨日ヨリ大ニ氣分宜敷シ、十時過ヨリ銀行ニ出掛ケ七時半ニ帰宿シ、夕飯後中井氏ノ住居迄散歩シ同氏ヲ訪ヒ十一時ニ帰宿セリ、本日ハ午後ヨリ時々微雨ヲ催セリ

八日

例刻ニ起キ暫時散歩シ朝飯ヲ喫シ、日記ノ書取ヲ為シ、十一時頃ヨリ銀行ニ行キ七時過ニ帰宿セリ、夕飯後近傍ヲ散歩シ、十一時半ニ寝ニ就ケリ

八月九日 二十一日ニ至ル

午前七時起キ例ノ如ク散歩シ朝飯ヲ喫シ、本日ノ日本便ニ送付スル為メ日記ヲ書取り、夫ヨリ銀行ニ行キタリ、今般閉店シタルピイコヲクモリ

ソノ商社關係ノ件ニ付種々法律上ノ取調ヲ為シ、代書人へ指授シテ夫々手配ヲ為サシメタリ、本店并留守宅へノ書状ヲ認メ本日ノ郵便ニ出シ、午後八時ニ帰宅セリ、夕飯後例ノ如ク近傍ヲ散歩十一時ニ寝ニ就ケリ、本日ミセス、スミス并ヘルンベエクノ兩人ヨリ書状并受取り、ヘエク婦人ヨリハ写真ヲ送付セリ

十日

例刻ニ起キ散歩シ朝飯ヲ喫シ、暫時讀書シ銀行ニ行タリ、奥少将ニハ今回政府ノ命ニテ直ニ帰国セラル、由ニテ、来店セラレ面会シテ種々談話セリ、午後六時頃ヨリアライアンス銀行ノ、シヤンド氏ヲ誘ヒ中井氏ト共料理店ニ行キ夕飯ノ馳走ヲ為シ、種々金銀問題等ノ事ニ付談話ヲ為シ、十一時ニ帰宿セリ、シヤンド氏ハ前年日本ニ来リ、一時政府ノ雇人トナリタルコトモアル人ニテ、先年余ノ当地ニ来リシ時ヨリ懇意ヲ結ヒタル人ナリ

十一日

例刻ニ起キ散歩シ、朝飯後暫時讀書シ銀行ニ行キ、午後七時過ニ帰宿セリ、夕飯後散歩シ中井氏方へ立寄り明日散歩ノ約束ヲ為シ、十一時ニ帰宿セリ

十二日

本日ハ日曜日ナルヲ以テ、午前八時ニ起キ近所ヲ散歩シ朝飯ヲ喫シ、松尾氏ト共ニ下宿ヲ出テ、途中ニテ中井、中村氏等ニ出逢ヒ、共ニリチマランドパークト称スル公園ニ出掛ケ三時間程同園ヲ散歩セリ、同公園ハ余ノ下宿シ居ル所ヨリ八九哩モアリテ日曜日ノ如キ汽車ノ往復少キ日ニハ行通甚不便ナル所ナリ、同公園ハ龍動近辺ニテハ最モ広大ナルモノナレトモ、真ノ原野同様ニテ見ルヘキモノハ数千ノ野鹿ノ放シ飼ニナリ居ルモノノミニテ、他ニ見ルヘキモノナシ、余等ハ同園テ午飯ヲ喫シ、夫

ヨリ同所ヨリ一二哩ハ隔リ居ルキウガルデンニ行き、暫時散歩スル内ニ雨ヲ催シ来リタレバ勿々ニシテ同所ヲ去リ、雨ヲ犯シテ一哩余散歩シ、夫ヨリ汽車ニテストラタムヒイルニ戻リ中井氏方ニ立寄り、同家ニテ夕飯ノ馳走ヲ受ケ、十一時ニ帰宿セリ

十三日

今朝ハ少々例刻ヨリ遅レテ起キタレハ、散歩スル間ナク直ニ朝飯ヲ喫セリ、夫ヨリ暫時読書シ銀行ニ行ケリ、過日川島、玉沢氏等ヨリ受取りタル書状ニ対シ返書ヲ出シ例刻ニ帰宿セリ、ヒイコクモリソン商社閉店ヨリ生シタル事件ニ付法律家ノ意見書ヲ取りタル処、本行ニ権利アル旨申越シタレハ、何レモ先方ノ請求ヲ拒絶シ却テ当方ヨリ出訴スル旨先方ヘ照会スルコトニ決セリ、夕飯後例ノ如ク近傍ヲ散歩シ、十一時過ニ寝ニ就ケリ

十四日

例刻ニ起キ近所ノ公園ヲ散歩シ、朝飯後暫時読書シ夫ヨリ銀行ニ行キタリ、本日ハ日本ヨリ郵便到着園田氏并留守宅ヨリ書状ヲ落手セリ、又日本新聞紙モ到着セリ、例刻ニ帰宿シ夕飯後モ例ノ如ク散歩シ、夫ヨリ日本新聞紙ヲ讀ミ十二時ニ寝ニ就ケリ、当地ノ氣候ハ、寒暖ハ余来到以來常々日中六十度ヨリ七十度位ニテ、夜分ハ五六度モ下ル位ニテ、実ニ暑氣不知ト云テ可然程ニテ暮好キ所ナレトモ、晴雨ハ時ナリ、殆ント一日トシテ雨ノ降ラサリシコトナキ程ナリ、故ニ毎日何レヘ行ニモ携傘セサルコトナキナリ

十五日

例刻ニ起キ近所ノ公園ヲ散歩シ、朝飯ヲ喫シ暫時読書シ銀行ニ行キタリ、今回蘭國ノ公使ヨリ伊國ノ公使ニ転任セラレタル高平氏来訪面會セリ、同氏ニハ先年淺野氏ノ事ニ付色々介ニナリタリ、午後五時過ヨリ

同氏并中井氏等ト共ニ林領事ノ宅ニ行キ夕飯ノ馳走ニナリ、夫ヨリ其所ニテ興行中ナル土國風俗ノ見セ物ノ見物ニ出掛ケ、十一時過ニ帰宿セリ、此見セ物ハ中々広大ナル仕掛ニテ、舞台ニ出掛ケタル人間ノ数ハ何百人ト云程ニテ、其有様美麗ナリシ、本日長崎、鍋倉、新井、上野氏等ヨリ書状ヲ落手セリ

十六日

昨夜遅カリシ為メ今朝ハ例刻ヨリ遅ク起キ、直ニ朝飯ヲ喫シ読書シ夫ヨリ銀行ニ行キタリ、本日本店ヨリ日本政府ハ五千万円ノ内國債ヲ募集スル旨ノ電報アリタリ、本日ハ昼過迄雨降り好天氣ニ非リシナレ共、過日來ノ約束ナレハ社員等一同ヲクリストルパアラスニ招キ夕飯ヲ供シ、共ニ花火ノ見物ヲ為セリ、同所ニテハ此頃ハ每週一回宛大花火ヲ打揚ケルコトニナリ居リ、其花火ハ仕掛打揚兩様ニテ中々立派ナリ、夫ヨリ同所ノ館内ヲ見物シ、十一時過ニ帰宿セリ

十七日

例刻ニ起キ散歩シ朝飯ヲ喫シ銀行ニ行キ、午後八時ニ帰宿セリ、本日ハ銀碗買入方ニ付鍋倉氏ヨリ書面ヲ落手セリ、夕飯後例ノ散歩ヲ為セリ、頃日ハ取調モノアル為メ日々寸暇アレハ読書シ居ルナリ

十八日

例刻ニ起キ散歩シ朝飯ヲ喫シ銀行ニ行キタリ、午後四時過ヨリ中井、松尾氏等ト共ニリジエンドパークノ動物園ノ出物ニ出掛ケ、八時ニ帰宿セリ、同動物園ハ恐クハ世界第一ノ動物園ナルヘシ、同所ニハ獅虎類ヲ始トシテ世界中ノ獸類大方集メアルナリ、夕飯後散歩シ、帰宿後入湯シ十二時ニ寝ニ就ケリ

十九日

本日ハ日曜日ナルヲ以テ午前八時ニ起キ、夫ヨリ近所ノ公園ヲ散歩シ朝

飯ヲ喫シ、夫ヨリ松尾氏ト共ニダライテ公園ニ出掛ケ、二時過程散歩シテ帰宿シ、午飯ヲ喫シ日記ノ書取ヲ為シタリ、午後ハ雨降りタレトモ運動ニ出掛ケ、中井氏方ヘ立寄りタリ

二十日

例刻ニ起キ近傍ヲ散歩シ朝飯後讀書シ、十一時頃ヨリ銀行ニ行ケリ、シヤンド氏来店種々談話セリ、同氏ハ余并中井氏夫婦ヲ来ル廿三日同氏ノ宅ニ招キタリ、午後六時ニ銀行ヲ去リ、途中ニテ下着等ヲ買ヒ八時二帰宿セリ、夕飯後近傍ヲ散歩シ、十二時ニ寝ニ就ケリ

二十一日

例刻ニ起キ散歩シ朝飯後讀書シ、十一時銀行ニ行ケリ、本日ハ印度公債引替ノ事ニ付種々相談セリ、午後七時ニ帰り途中ニテ一時間程散歩セリ、夕飯後散歩ヲ試ミタレトモ、腹合悪敷ケタレハ帰宿シテ日記ヲ書取り、十二時ニ寝ニ就ケリ、然ルニ夜中腹痛ヲ催シ大ニ困難セリ、幸ヒ持參セシカイロアリタレハ、之レニテ腹部ヲ温メタレハ夜明ヨリ安眠スルヲ得タリ

八月廿二日二十七日ニ至ル

昨夜ヨリ腹痛ヲ生シ今朝ニ到ルモ未タ全ク癒ヘス、且昨夜充分ニ睡眠を得サレハ、今朝ハ多少疲労ヲ覚ヘ十時過頃迄寝ニ在リタレトモ、本日ハ日本ヘノ郵便日ニテ種々要事アレハ、押シテ起キ少々食事ヲ為シ、十一時過ヨリ銀行ニ行キ要事ヲ弁シ、本店并留守宅ヘノ書状ヲ出シ六時過ニ帰宿セリ、夕飯ニハパンヲ牛乳ニヒタシ之ヲ食シタルニ、腹痛ヲ生セサリシカハ、少々散歩シ、半身浴ヲ為シ、十一時ニ寝ニ就ケリ、明ケ方ニ到リ少々膚痛ヲ催シ、之レカ為メ眼ヲ覚シタレトモ、差シタルコトハナカリシ

廿三日

今朝ハ大ニ快方ナレハ、午前八時ニ起キタレトモ、降雨甚敷シテ外出スルヲ得ス、依テ少シク室内ヲ運動シテ朝飯ヲ喫セリ、本日ハ降雨更ニ止ス、又腹合モ未タ全ク癒ヘサレハ終日在宿シテ讀書ト運動ト二日ヲ送り、本日ハ友人シヤンド氏ヨリ夕飯ニ招キヲ受居タレトモ、何分腹合悪敷レハ之ヲ断リタリ、又銀行ヘモ出勤セサリシカハ、中井氏ハ帰途余カ寓所ニ立寄り見舞呉ラレタリ、本日留守宅并桜井氏ヨリノ書状到着シ、一家親族之無事ナルコトヲ知り独リ得テ喜悅セリ

二十四日

午前七時半ニ起キ近傍ヲ散歩シ、朝飯ヲ喫シ銀行ニ行キタリ、本日本店ノ園田、乗竹氏等ヨリ書状ヲ落手セリ、本日ハ英船ノ東洋郵便日ナレハ一書ヲ認メ小田柿氏ヘ送り、兼テ同氏ヘ依頼シ置キタルコトヲ催促セリ、本日ハ終日烟霧深クシテ、午後二八点燈セサレハ室内ニテ讀書スルヲ得サリシナリ、午後五時過ニ帰宿シ、夕飯後近所ヲ散歩セリ、本日ハ腹合大ニ快方ナリシモ未タ全治セサリシナリ、本日岡村氏銀行ヘ尋ネ来ラレ談話ノ末、明日同氏方ヲ訪フコトヲ約セリ

二十五日

例刻ニ起キタレトモ降雨甚敷シテ外出スルヲ得ス、室内ヲ散歩シ朝飯ヲ終リ銀行ニ行キタリ、途中シヤンド氏ノ銀行ニ立寄り、来ル廿八日ニヨリ同氏ト共ニスコトランドヘ旅行スルコトヲ約セリ、本日ハ里昂ノ川島氏ヨリ来状、何時ニテモ余ノ都合次第当所ヘ出向クヘキコトヲ申越セリ、本日ハ土曜日ナレハ午後四時頃ニ銀行ヲ去リ、松尾氏ト共、岡村氏ヲ訪ヒ同氏方ニテ夕飯ヲ喫シ、午後十時頃帰宿セリ、本日ハ腹合大ニ快方ナリ、然レトモ食物ニハ尚ホ充分注意シタリ

二十六日

本日ハ日曜日ナレハ午前八時二起キ、松尾氏ト共ニ近傍ヲ散歩シ、朝飯ヲ喫シ、新聞紙ヲ讀ミ、夫ヨリ松尾氏并同宿ノ西洋人ト共ニタルチバア<sup>カ</sup>迄散歩シ十二時半ニ帰宿セリ、本日ノ午飯ヲ家ニテ食シ、夫ヨリ荷物ノ方付ヲ為シ、明後日ヨリ当家引払ノ意ヲ為セリ、本日ハ近來ニナキ好天氣ニテ暑氣大ニ増加シ、寒暖計七十五度ニ登レリ、午後又松尾氏ト共ニクラバムコンマント称スル当所ヨリ二哩程アル所ノ公園迄散歩シ、帰途余リ空腹シタレハ、下宿ノ近所ニテコフイトパントヲ食シ、七時半ニ帰宿シ、日記ヲ書取リ、九時過ニ茶ヲ吞ミ暫時近所ヲ散歩シ、十一時過ニ寝ニ就ケリ

二十七日

例刻ニ起キ近傍ヲ散歩シ、朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ行キ、夫ヨリシヤンド氏ヲ訪ヒ、明日スコットランド行之事ニ付打合ヲ為シタリ、又林氏モ来店セシニ付シヤンド氏ト打合せ置タル事ヲ談話シ、明日午後二時二十分發ノ汽車ニテ龍動出立ノ事ニ決定セリ、午後本店ヘノ書状ヲ認メ、來ル三十日ノ郵便ニ差出スヘキ意用セリ、又里昂ノ川島氏ヘ書状ヲ發シ、次週ノ日曜日頃当地ヘ出向クヘク様申遣シタリ、午後六時ニ銀行ヲ去リ、松尾氏ト共ニ帰途ノ商店ヲ見物シ七時半ニ帰宿セリ、夕飯後近所ヲ散歩シ日記ノ書取ヲ為シ、留守宅ヘノ書状ヲ認メ、十二時ニ寝ニ就ケリ

八月廿八日 九月十一日ニ至ル

本日ハ兼テノ計画ニテスコットランドヘ旅行スル積リナレハ、例刻ニ起キ荷物ヲ整ヘ、朝飯ヲ喫シ、下宿家ノ家族等ヘ別ヲ告ケ、午前十時ノ汽車ニテ同所ヲ出立シ、銀行ニ來リ要事ヲ弁シ、午後二時過ヨリ林并シヤンドノ両氏ト共ニキングス、クロラス停車場ヨリスコットランドノエテンバロヲヘ向ケ出立セリ、今回ノ旅行ハ万事シヤンド氏ノ案内ニ從ヒ汽車

モ三等汽車ヲ取りタレトモ、日本ノ一等ヨリモ優リタル位ニテ、室モ大方三人ニテ買切り同様、至極都合宜シ、途中車窓ヨリ四方ノ景色ヲ詠メタルニ、追々北方ニ進行スルニ從ヒ田舎ノ風景愈妙ナリ、午後七時頃タイント称スル河ヲ越シタリ、此所ニハ彼ノ有名ナル造船家且大砲製造家ナルアームストロング氏ノ工所アリテ、先年日本軍艦濼浪鑑<sup>（須波鑑）</sup>ノ船卸ヲ為シタルトキ、アームストロング氏ノ招ニ依リ余モ此所ニ來リタルコトアリ、此辺ヨリ汽車ハ海浜ニ接近シタル山路ヲ走り、景色絶妙ナレトモ最早夜陰ニテ之ヲ詠ム<sup>（歌）</sup>ルヲ得サリシハ遺憾ナリシ、午後十一時頃エデンバ<sup>（ル）</sup>ルクニ着シ、直ニ馬車ヲ雇ヒアレキサンドルホテルニ到リ同館ニ投宿セリ、本日ハ八時間余ノ乗車ニテ随分疲労シタレハ、麦酒ヲ一杯傾ケ直ニ寝ニ就ケリ

廿九日

午前七時ニ起キ、旅館ノ前ニ在ル当市ノ公園ヲ散歩シ、朝飯ヲ喫シ、林、シヤンド両氏并ニシヤンド氏娘ノ連中三四名（此連中モ昨日龍動ヨリ当地ニ來レリ）ト共ニ、スコットランドニテ有名ナルエデンバロヲ城ヲ見物セリ、此城壁ハアレキサンドルホテルノ前ニ在ル公園ヲ隔テタル数千尺ノ断岩ノ上ニ在リテ、総テ岩石ヲ以テ建築シタルモノニテ中々広大ナリ、此城壁ハ昔ハスコットランド王ノ宮城ニテ種々歴史ノアル所ナレトモ、目下ハ陸兵ノ兵營ニナリ居リ、常ニ七八百ノ兵員アリト云、其城壁ノ中昔シ王宮トナリ居タル部分ハ公衆ノ見物ヲ許シ、余等モ之ヲ見物セシニ、各室ノ様子ハ実ニ石造ノ宇屋ニ異ナラス、其内ニハ古代ノ玉器圖画并ニ王冠等アリタリ、余等ハ同所ヲ去リ当地ニテ有名ナル古代ノ寺院ヲ見物シ、夫ヨリ昔シ女王メイレイノ住所セシ宮城ヲ見物セリ、此宮城ノ一部ハ今尚ホ英国女王ノ離宮ニナリ居レトモ、昔シ女王メイレイノ住所セシ部分ハ明屋ニナリ居リ、公衆ニ見物ヲ許セリ、此宮城中ノ一室ハ



即ち女王メイレイノ殺サレタル所ナリト云、又其各室ニハ昔シ女王メイレイノ用ヒタル家具ヲ保存シアリタリ、当市ノカノランゲイトト称スル街ハ昔シ士族等ノ住居シタル所ニテ、今尚ホ其家屋ノ存スルモノ多シ、余ハ宮城ヲ出テカノンゲイト街ヲ通り、所々見物シ十二時過ニ帰館シ、午飯ヲ喫シ、夫ヨリ又乗合馬車ニテフラスブリジト称スル鉄橋ノ見物ニ出掛タリ、此鉄橋ハ当市ヨリ三四里隔タリタル入江ニ架シタル新工夫ノ鉄橋ニシテ、其長サ一里余ニシテ、高サモ亦数百尺アリテ、実ニ壮大ナル新鉄橋ナリ、同所ニ到ルヤ小汽船ニ乗り鉄橋ノ下ヲ通り向ヒ岸へ渡リ、暫ク同所ノ風景ヲ見物セリ、夫ヨリ再ヒ船ニテ引返シ、待セ置キタル乗合馬車ニ打乗リ日暮レ帰館セリ、本日見タル場所ノ景色ハ中々好シ、又フラスブリジノ近所ニハ當時ノ英国内閣総理ロバズベリイ公ノ第宅アリテ中々広大ナリ、夕飯後近傍ヲ散歩シ十一時ニ寝ニ就ケリ、今日ハ少シク風邪ヲ受ケタル気味ナリ

三十日

午前八時ニ起キ、近傍ヲ散歩シ朝飯ヲ喫セリ、本日ハスコトランドニテ有名ナル好風景ノ地方ヲ巡回スル予定ナリケレハ、シヤンド氏并林氏ト共ニ午前十時ノ汽車ニテ当所ヲ出立シ、スコットランド第一ノ製造場ナルグラスゴーヲ経テ、レモンド湖ニ到レリ、同所ニテ汽車ヲ下リ、小汽船ニ乗り、船中ニテ午飯ヲ喫シナカラ湖辺四面ノ風景ヲ詠ムルニ、其風景ノ美妙ナル事実ニ名状スヘカラス、二時間程ニテインウルスネスト云所へ着セリ、同所ニテ乗合馬車ニ乗移リ、山路ヲ一時間余走りカトライン湖ニ到リ、同所ヨリ又小汽船ニ乗り移リ湖岸ノ風景ヲ見物シ、前岸ニ着スルヤ同所ニ待チ居タル乗合馬車ニ乗り、一時間余ニシテキヤレングルト云所ニ着セリ、同所ニテ半時程待チ汽車ニテエデンバルグニ帰レリ、同所ニ帰着セシトキハ既ニ午後十時過ナリ、本日通過シタル所ノ景

色ハ、アタカモ箱根山ヲ登リ湖水ヲ渡リ、又伊香保ノ湖水ヲ越へ、原野ヲ通りタルカ如ク其風景ノ絶妙ナル事、実ニ比類稀ナルヘシ、帰館後食事ヲ為シシヤンド氏ト暫時談話シ、十二時寝ニ就ケリ、本日ハ少々風邪ノ気味ニテ、湖水ヲ渡ル頃ニハ鼻辺ニ不快ヲ感シタリ、本日龍動ノ中井氏ヨリ書状ヲ落手セリ

三十一日

午前八時ニ起キ朝飯ヲ喫シ、同行者三人并ニシヤンド氏娘ト共ニ馬車ニテ市中ヲ見物シ十二時ニ帰館セリ、当市ノ家屋ハ何レモ石造ニテ総テ堅牢ナリ、又其商店ノ割合ニハ住家ノ数多シ、是<sup>其</sup>儘<sup>ニ</sup>保養ノ為メ又ハ見物ノ為メ、他ヨリ入込ム人ノ多カ<sup>ニ</sup>為メナルヘシ、午後二時頃ヨリシヤンド并林ノ両氏ト共ニ汽車ニテニウベルキト云所へ行キタリ、同所ハフラスト云入江ノ海岸ニ在ル小村ニシテ、夏季多ク人ノ出掛ケル所ニシテ、エデンバークヨリ汽車ニテ大凡一時間位ノ所ナリ、同所ニハ美麗ナル別荘様ノ者沢山アリ、同所ニ到ルヤ馬車ヲ雇ヒ海岸ヲ乗り廻リタルニ、海上ニ数箇ノ嶋嶋ヲ見、風景中々好シ、夫ヨリ小汽船ニ乗り向岸ニ立寄り、エデンバークニ帰レリ、本日ハ汽船ニテ入江ノ風景ヲ詠ムル目的ナリシテ、途中ヨリ雨ヲ催シ、見物スルコトヲ得サリシハ遺憾ナリシ、夕飯後ハ降雨ノ為メ散歩スルヲ得スシテ在館セシカ、アライアンス銀行ノ取締役ワラス氏、余等ノ一行ヲ訪ヒ来リテ、共ニ一杯ヲ傾十一時過迄談話セリ

九月一日

午前八時ニ起キ、近所ヲ散歩シ朝飯ヲ喰ヒ、同行者三名ニテ馬車ニテ市中ヨリ三四哩隔リタル所ノ高丘ニ登リ、市中并入江ノ風景ヲ一覽シ十二時過ニ帰館セリ、午後支度ヲ整へ、二時半ノ汽車ニテ龍動へ向ケ帰途ニ就キタリ、エデンバルグヨリニウカステルニ到ル迄ノ線路ハ大低海岸ニ沿ヒ、左ニ蒼ヲ見、右ニ山野ヲ眺メ、其景色甚妙ナリシ、車中ニテ夕飯

ヲ喫シ、十一時過ニ龍動ニ帰着シ停車所ニテ林氏ニ別レ、シヤンド氏ト共ニランガムホテルト云旅館ニ投宿セリ、同所ニ着スルヤ既ニ十二時ヲ過キ大ニ疲労シタレハ、シヤンド氏ト共ニ杯ヲ傾ケ直ニ寝ニ就ケリ

二日

昨夜遅カリシ為メ今朝ハ甚眠ムカリシカ、八時ニ起キシヤンド氏ト共ニ朝飯ヲ喫シ、吸烟室ニテ銀行ノ事ニ付十二時頃迄談話シ、夫ヨリ同氏ト共ニ旅館ヲ立出テ、汽車ニテストラタムヒールト云所へ来リ、同所ニテ同氏ニ別レ余ハ中井氏ヲ訪ヒタリ、然ルニ同氏ハ余ヲ訪フ為メ龍動市中ニ出掛ケラレタル由ニテ不在レハ、暫時同氏ノ妻君等ト談話シ、午飯ノ馳走ニナリ居ル内ニ同氏帰来リテ、午後五時頃迄同家ニテ談話セリ、余ハ夫ヨリ旅館ニ立帰りタレハ松尾氏モ来訪シ呉レタル趣ニテ書面ヲ遺シアリタリ、余ハ夕飯後龍動ニテ最モ繁昌ナルリジエンド街并ヲクスフアド街ヲ散歩シ、九時ニ寝ニ就ケリ

三日

午前八時ニ起キタレハ、風邪増加シタル気味ナリシモ、近所ヲ散歩シテ朝飯ヲ喫セリ、其内松尾氏来リ共ニ銀行ニ行キタリ、四五日不在ナリシ為メ種々要事モ高ミ居タレハ、之ヲ弁シ午後四時半頃ヨリ中井、松尾両氏ト同道ニテ、今夕里昂ヨリ来着スヘキ川島氏ノ出迎ニ行キタリ、幸同氏ノ来着セシ処ニテ直ニ出逢タレハ、誘ヒテ余ノ旅館ニ来リ一同共ニ夕飯ヲ喫シ、午後十時頃迄談話セリ、余ハ風邪ノ気味ナレハ加養ノ手当ヲ為セリ、本日銀行ニテ郵船会社ノ吉武氏ニ面会シ、仏国同行ノ事ヲ相談セリ

四日

午前八時ニ起キ、川島氏ト共ニリジエンドバアク迄散歩シ、朝飯ヲ喫シ共ニ銀行ニ歩行シ、営業上ニ関スル種々ノ相談ヲ為シ、午後五時頃ヨリ

中井氏ノ案内ニテ料理店ニ行キ、尚ホ要談ヲ継続シ七時過ニ到リ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ種々雑話ニ移リ十一時ニ帰館セリ、本日日本ヨリノ郵便到着、留守宅ヨリ八月三日并ニ四日付ノ書状并新聞紙ヲ落手セリ、八月六日付ノ留守宅ヨリノ書状者一昨日落手セリ、本日モ風邪尚ホ去ラサレハ、薬店ニテ水薬ヲ求メ之ヲ服セリ

五日

昨夜ヨリ風邪ニテ気分悪敷カリケレハ、今朝ハ十一時迄ニ寝ニ在リテ加養シ、夫ヨリ銀行ニ行キ昨日来ノ要談ヲ継続シ、午後シヤンド氏ノ紹介ニテ中井氏ト共ニパアルアンドアライランス銀行ノ支配人ニ面会セリ、公使館ノ内田氏ノ案内ニテ時刻ヨリ同館ニ到リ日本料理ノ馳走ヲ受ケタリ、今夕ハ銀行社員カ正客ニテ領事其他日本人数名アリタリ、午後十一時ニ帰館セリ、今夕風邪ノ為メ辞退セントセシモ、折角余ノ為メニ設ケラレタル席ニ出掛ケサルハ失礼ナリト考へ、強テ出席セシナリ

六日

午前八時ニ起キ朝飯ヲ喫スレハ、少々腹痛ヲ催シ便所ニ行キタリ、全ク昨夜ノ食物ノ為メサルヘクシテ差シタルコトハナカリシナリ、其内松尾氏来リ明日仏国へ出立ノ為メ荷物ノ用意ヲ為シ、川島氏ト三名同道ニテ銀行ニ出掛タリ、明日日本郵便日ナレハ本店并山川氏及留守宅へノ書状ヲ認メ、差出方ヲ銀行ニ托シ、午後五時半頃ヨリ松尾氏ト共ニ銀行ヲ去リ、途中ヲ散歩シ共ニ夕飯ヲ喫シ、十時ニ帰館シテ寝ニ就ケリ、今夕ハ降雨中ヲ散歩セシニ付風邪ノ為メ如何哉ト掛念セシカ、大ニ快方ナリシ

七日

午前七時半ニ起キ、出立ノ仕度ヲ為シ朝飯ヲ喫シ、旅館ノ払ヲ為シ、川島氏ト共ニ同館ヲ立出シ、チャリングククロス停車所ニ来レハ、間モナク松尾氏、吉武氏等モ来リ、十一時ノ汽車ニテ巴里ニ向ヒ出立セリ、此

時領事、中井、渡辺、其他邦人兩三名、見送ノ為メ停車所迄来ラレタリ、汽車ハ午後一時頃ドヴラル(英国ヨリ仏国ニ渡ル渡船所)ニ着セリ、同所ニテ渡船ニ乗り仏領カレイニ渡リ、同所ニテ再ヒ汽車ニ乗り午後七時頃ニ巴里ニ着セリ、ドヴラルノ渡場ハ有名ナル船ノ動揺スル場所ニテ、先年余カ此所ヲ渡リタルトキニモ非常ノ動揺ニテ船酔ヲ感タルコトアレハ、今回ハ如何哉ト氣遣居タルニ、今回ハ天氣モ好ク風モ無ク、船体至静ナリケレハ、船中ニテサンンドイヲ喰ヒ午飯ニ充テ、海面ノ景色ヲ見物杯シ一時間余ニシテカレイニ達セリ、又カレイヨリ巴里ヘノ途中ノ風景ハ所々ニ茅葺屋根杯見ヘ日本ノ田舎ノ景色ニ似タル所アリタリ、余等巴里ニ着スルヤ同地ニ出店シ居ル林忠正氏出迎ヒ呉レタリ、余等ハ夫ヨリ直ニ馬車ニテホテルベレイト云旅館ニ行キ、同館ニ止宿スルコトニ定メタリ、一同暫時休息シ市中ニ出掛ケ途中ニテ夕飯ヲ喫シ、カフェ店ニテコフイ杯ヲ飲ミ、十一時頃ニ帰館セリ、巴里ハ龍動ヨリ余程寒キ様聞及ヒ居タルニ、今夕杯ハ龍動同様ニテラヴルコートナシニハ居ラレヌ程ナリシ

八日

午前八時二起キタレハ雨天ナリ、朝飯後同行者一同打連レ林忠正氏ヲ訪ヒ同氏ノ店ヲ見物セリ、同氏ハ殆ント二十年間モ欧米ニ往来シ美術ヲ研究シ、数年前ヨリ巴里ニ骨董店ヲ開キ、現今同店ノ所有品ハ殆ント日本ニテモ其類ノ少ナキモノ多シ、同氏ノ案内ニテ近所ノ料理店ニテ午飯ヲ喫シ、夫ヨリ同氏ノ案内ニテ日本公使館ヲ訪ヒ、曾根公使ヲ始メ生瓜氏其他ノ館員ニ面会シ、五時頃同館ヲ去リ、馬車ニテバアドプロギイ公園(Bois de Boulogne すなわちブローニュの森カ)ヲ乗り廻レリ、此公園ハ壮大ニシテ且美麗ナルコト恐クハ英米公園ノ比ニ非ルヘシ、今夕ハ折悪敷雨天ナリケレハ、同園ニ出掛ケル人稀ナリシカ、平素ハ殆ント馬

車ノ通行ノ出来サル程人出ノアル所ナリト云、今夕出逢ヒタル人達ハ多クハ結婚者ノ連中ナリ、当地ノ習慣ニテ結婚スル者ハ、同日親族朋友ヲ同伴シ、馬車ニテ諸方乗り廻リ到ル処ニテ酒ヲ飲ムト云、余等ハ夫ヨリパレイロヤラルト云所ヘ行キ、金銀類ノ物品陳列シタル店ヲ見物シ、同所近傍ニテ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ一同連達チ格蘭ドヲペラヘ芝居ノ見物ニ出掛ケタリ、此芝居ハ世界第一ノ歌芝居ニテ、其建築ノ壮大ニシテ美麗ナルコト実ニ驚クノ外ナク、全体此芝居ハ政府ノ補助金ヲ受ケテ興行スルモノナリ、今夜ノ下題ハ有名ナルロロマヨ、ジュリエトニテ、夏芝居ニシテハ役者モ中々上等ナル様見受ケタリ、帰途カフェ店ニ立寄り有名ナル巴里ノ夜景ヲ一時過迄見物セリ、帰館シテ寝ニ就キシハ一時半頃ナリ

九日

昨夜遅カリシ為メ今朝ハ九時二起キタリ、朝飯後川島氏ノ案内ニテベルサユウト云所ノ王宮ノ見物ニ出掛ケタリ、同所迄ハ巴里ヨリ汽車ニテ一時間程掛レリ、同王宮ハルウイ第十四世ノ建築シタルモノニテ、其広大ニシテ美麗ナルコト名状スヘカラス、同宮ハ数十年來歴史の油絵ノ陳列所トナリ、其数ノ多キコト幾百ヲ以テ数フル程ナリ、又其庭園ノ結構ナルコトモ殆ント其類ヲ見サル程ナリ、同所見物中雨降出シタレトモ、近所ニテ午飯ヲ喫スル内ニ止タレハ庭園ヲ徘徊シ、夫ヨリ汽車ニテサンクローラト云所ヘキ同所ノ王宮跡ヲ見物セリ、同所ハベルサユウトヨリ巴里ヘノ帰途ニ在リテ、曾テ立派ナル王宮アリタレトモ、先年普仏戦争ノ時焼失シタル由ニテ、現今ハ唯立派ナル公園トナリ居リ、同所ヨリ巴里ノ方ヲ見レハ、市街ハ一目ノ下ニ在リテ甚絶景ナリ、暫時同所ヲ徘徊シ、夫ヨリ小汽船ニテセイシ河ヲ下リ八時ニ巴里ニ帰り、途中ニテ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ市中ヲ散歩シ、十一時半ニ帰館セリ

十日

午前八時二起キ、川島氏ノ案内ニテ隣家ノ風呂屋ニ行き朝湯ニ入り、夫ヨリ朝飯ヲ喫シ、余ハ又川島氏ノ案内ニテクレデイリヲネイ銀行并ニコムトワル、デ、コムト銀行ニ行き、支配人等ニ面会シ、又カン商社ヲ訪ヒ主人ニ面会セリ、夫ヨリ帰宅スレハ時既二十二時過ニテ、林氏來訪シ居ラレタリ、夫ヨリ同氏ノ案内ニテ一同連立テ馬車ニテ市中ニテ有名ナル所ヲ見物セリ、其内先年当国大博覧會ノ時建築シタルエフエル塔ナルモノハ実ニ高大ナルモノニテ、余等ハ唯其一階迄登リタレトモ、同所ヨリ巴里市街ヲ眼下ニ見下シタリ、本日見物シタル場所ハ大底余ハ先年一度見物シタル所ナレハ、余ニハ余リ珍敷アラサリシガ何レモ歴史上有名ナル場所ナリ、夫ヨリ林氏ノ案内ニテ夕飯ヲ喫シ、散歩シテ巴里公園ト称スル遊園ニ出掛ケ同所ノ有様ヲ見物セリ、同所ハ酒店沢山アリテ、不品行ナル婦人ノ多ク客引ニ出掛ケル所ナリト云、余等モ同所ニテビールヲ飲ミ十一時頃ニ帰館セリ

十一日

午前八時二起キ朝飯ヲ喫シ、里昂へ出立ノ用意ヲ為シタレトモ、同行人ノ都合ニヨリ午後迄出立ヲ見合せ、川島氏ノ案内ニテ当市ノ王宮跡ヲ見物セリ、同所ニハ壮大ナル王宮アリタレトモ、先年仏国暴民騒乱ノ時焼失セシ由ナリ、夫ヨリ又パアレイロエイヤルノ金銀細工店ヲ見物シ指輪類ヲ買ヒ十二時過ニ帰館セリ、既ニ出立ノ支度出来居レハ、直ニ馬車ヲ雇ヒ同館ヲ出立シ、二時十五分ノ汽車ニテ里昂ニ向ケ出發セリ、途中車窓ヨリ左右ノ景色ヲ見物シ、デジヨント云所ニテ一寸下車シテ午飯ヲ喫シ、十一時過ニ里昂ニ着セリ、同所へ着スルヤ銀行ノ市川、小野ノ両氏出迎ヒ居リ呉レラレ、一同共ニ馬車ニテグラントホテルト云旅館ニ到リ、余ハ同所ニ一時滞在スルコトト定メ、一同連立近所ノカフェニテ一

酌シ一時頃諸氏ニ別レ帰館セリ

九月十二日 同月廿七日

午前八時二起キ朝飯ヲ喫シ、小野氏ノ案内ニテ銀行ニ行き、社員一同ニ面会シ同店検査ノ順序ヲ定メ、夫ヨリ川島氏ノ案内ニテ近所ニテ午飯ヲ食シ、目下当市ニテ開場中ナル博覧會ノ見物ニ出掛ケ、午後五時頃迄場内ヲ徘徊シ、一旦帰館シ共ニ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ近所ノ商店ヲ見物シ、十一時過ニ帰館セリ

十三日

午前八時二起キ、朝飯後直ニ小野氏ノ案内ニテ銀行ニ行き検査ニ着手セリ、午飯ハ近所ノ料理店ニ為シ、午後五時過迄検査ヲ継続シ、夫ヨリ市川氏ノ案内ニテ市中ヲ散歩シタルニ、生憎途中ニテ雨ヲ催シケレハ、料理店ニ一休シテ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ又雨ヲ侵シテ散歩シ、カフェ店ニ立寄り、十一時頃ニ帰館セリ

十四日

午前七時二起キ散歩シ朝飯ヲ喫シ、直ニ銀行ニ行き検査ヲ継続シ、午後六時頃銀行ヲ去リ、川島氏ノ案内ニテ市中ヲ見物シ、七時過ニ帰館シテ共ニ夕飯ヲ喫セリ、今夕ハ吉武氏プリンデシニ向ケ出立セラレシニ付、停車所迄同氏ヲ見送り、帰途川島氏等一同ト共ニ散歩シ、カフェ店ニテ一酌シ十一時ニ帰館セリ、本日ハ終日曇天ナリシ

十五日

例刻二起キ例ノ如ク散歩シ、朝飯後直ニ銀行ニ行き検査ヲ継続セリ、同伸会社ノ福田氏ヲ為替荷物ノ取調書ヲ持參シ、同社ヲ為替金所分方ニ付相談セリ、川島氏ト共ニ午飯ヲ喫シ、一時間程市中ノ古街ヲ散歩シテ見物セリ、又夕飯後ハ松尾氏ト市中ヲ散歩シ、カフェニ立寄りタル所、言語ノ

不通ナルニ困却シ居タル所ニ小野氏来リテ通弁者ヲ得テ弁利セリ、夫ヨリ小野氏ノ案内ニテ玉突屋ニ行キ、十一時ニ帰館セリ

十六日

例刻ニ起キ入湯シ朝飯ヲ喫シ終レハ小野氏来訪、中井氏ヨリノ書状ヲ持參シ呉レタリ、本日ハ日曜日ナレハ何レカ散歩ニ出掛ケル約束ニテ、市川氏モ来訪セラルヘキ筈ナレハ、暫時待チ居タレトモ同氏来ラス、依テ小野、松尾兩氏ト共ニ市川氏ノ宅ニ到リタルニ、丁度同氏ト行違ヒタリ、同氏妻君ト暫時談話スル内市川氏帰来セリ、昨日小野氏ノ周旋ニテ市川氏ノ隣家ナルヒユグス氏ノ家ニ下宿スルコトノ相談ヲ為シ置キタレハ、其借リ入ルヘキ室ノ見物ニ行キタリ、同室ハ五階ニ在リテ上下スルニハ随分不便ナレトモ、丁度市川氏室ノ向ヒニシテ、且同家ノ者ハ何レモ英語ニ通シ居ル者ニテ便利ナレハ、明日ヨリ同家ニ下宿スルコトニ決シ相約定ヲ為セリ、夫ヨリ一同連立当地ノ公園ニ出掛ケ、園内ヲ所々散歩シロヲヌ河ヲ渡リ、向ヒ岸ノ料理店ニテ午飯ヲ食ヒ、又散歩シテ小丘ヲ越ヘ、ソヲヌ河ノ岸ニ出テ之ヲ渡リ、向ヒ岸ヨリ小汽船ニテ市中ニ帰レリ、ロヲヌ河ヨリソヲヌ河へ来ル道筋并両河近傍ノ景色ハ中々好シ、又此辺ニハ所々ニ昔時ノ石造家物ヲ見受ケタリ、市中ニ着スルヤ乗合馬車ニテ博覧会場ニ到リ場内ヲ見物シ、池頭ノ料理店ニテ夕飯ヲ喫シ、又場内ヲ散歩シ九時過ニ帰館シ、大ニ疲労シタレハ直ニ寝ニ就ケリ

十七日

例刻ニ起キ朝飯後直ニ銀行ニ到リ検査ヲ結了セリ、今朝ハ朝鮮平壤ニ於テ日本陸兵大勝利遂ニ平壤ヲ乘リ取りタリトノ電報ヲ得、大喜ノ余銀行社員一同シヤンピンヲ抜き之ヲ祝セリ、午後五時一旦旅館ニ帰り荷物ヲ整ヒ、松尾氏ト共ニ昨日見物シタル家ニ転居セリ、旅館ニテハ英語ノ通スル者少ク万事ニ不自由ナレハ、英語ノ訳ル家ニ転居スルコトニ為シタ

ルナリ、今夕ハ新シク引移リタル家ニテ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ市川、松尾ノ兩氏ト共ニ市中ヲ散歩シ、帰り掛市川氏ノ宅ニ立寄り十一時過ニ帰館セリ

十八日

例刻ニ起キ近傍ヲ散歩シ、朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ到リ要事ヲ弁シ、本店并留守宅ヘノ書状ヲ認メ本日ノ郵便ニ出セリ、本便迄ニ日記ノ書取りヲ為シ差出サント思ヒ居タレトモ其暇ナケレハ之ヲ次便ニ譲リタリ、午後五時半ニ一旦帰宿シ、夫ヨリ公園ヲ散歩シ六時半ニ帰宿シタリ

十九日

例刻ニ起キ例ニ依リ散歩シ、朝飯後直ニ銀行ニ到リ検査書類ヲ整理シ要務ヲ弁シ、午後五時頃ヨリ川島、市川氏等ト共ニ市背ニ在ル高丘ニ登リ、同所ニ目下建築中ナル壮大ナル寺院ヲ見物シ、又高サ数百尺ナル遠望塔ニ登リ当市近傍ノ景色ヲ眺メ、夫ヨリ散歩シテ帰宿セリ、夕飯後小野氏来訪、同氏ノ案内ニテ松尾氏ト共ニ市中ヲ散歩シ、十一時過ニ帰宿セリ

二十日

例刻ニ起キ例ニ依リ如ク散歩シ、朝飯ヲ喫シ銀行ニ到レリ、昨日ノ新聞紙ニ日支間海戦アリタル趣記載アリシカ、本日本店ヨリノ電報ニ依レハ鴨緑江口ニ於テ海軍大戦日本大勝利ナルコト相分り、欣喜ノ余又社員一同シヤンバンヲ抜き之ヲ祝セリ、今日各務氏来訪セラレタリ、同氏ハ休職海軍軍医総覧ニテ龍動巴里等ニテ面会セシ人ニテ、今回帰国ノ途次立寄ラレタルナリ、今夕ハ川島氏ヨリ日本料理ニ案内ヲ受ケ、七時頃ヨリ同氏宅ニ到リ馳走ニ相成り、十一時頃ニ帰宿セリ、本日中井氏へ書面出セリ

廿一日

例刻二起キ例ノ如ク散歩シ銀行ニ行キタリ、本日ハ日本便到着留守宅并乗竹氏ヨリ書状ヲ落手セリ、又布哇ノ今西氏ヨリ荒西氏ノ写真ヲ送付セリ、夕飯後市川氏方へ行き、夫ヨリ松尾氏ト共ニ散歩セリ

廿二日

例刻二起キ例ノ如ク散歩シ銀行ニ行キ、午飯後川島氏ノ案内ニテ二三ノ銀行ヲ訪ヒ、一時金融等ノ事ニ付相談セリ、又一昨日当市来着セラレタル宮川領事ヲ訪ヒタレトモ、不在ニテ面会セス、夕景福田氏ヲ招キ同伸会社為替金ノコトニ付相談シ、本店へ電報ヲ発スルコトニ決セリ、夕飯後小野氏ト散歩シ玉突屋ニ立寄り十一時ニ帰宿セリ、松尾氏ハ昨夜ヨリ少々不快ナリ、本日日本ヨリ郵便到着、本店園田、原氏等ヨリ書状ヲ受取りタレトモ留守宅ヨリハ信書ナシ、昨日并本日ノ書面ニ対シ中井氏へ返書ヲ出セリ

二十三日

本日ハ日曜日ナレハ午前八時二起キ、朝飯後新聞紙ヲ読ミ居タレハ小野氏来訪、同道シテ川島氏ヲ訪ヒタリ、同氏方へハ今朝日本ヨリ到着セラレタ人二名居レリ、彼等ハ八月十二日日本出帆セラレシ趣ナレハ、当時頃ノ日本ノ様子ヲ尋問シタリ、夫ヨリ主客一同回家ヲ出テ川島氏夫婦并新来ノ日本人等ハ直ニ博覧会へ行カレタレトモ、余ハ小野氏ト公園ヲ散歩シ夫ヨリ博覧会へ行キ同所ニテ再ヒ彼等ニ出逢共ニ場内ヲ散歩シ四時頃余ハ彼等ニ別レ小野氏ト共ニ帰宿セリ、余ハ一休シテ又近所ヲ散歩シ夕飯ヲ喫シ、下宿家ノ人等ト座敷ノ窓ヨリ博覧会場ノ花火ヲ見物シ、又一時間程散歩シテ寝ニ就ケリ、本日ハ日曜日ノ為メ博覧会場ノ見物人非常ニ多カリシナリ

廿四日

例刻二起キ例ノ如ク散歩シ、朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、十一時過ヨリ

小野氏ノ通弁ニテ理髪并入湯ヲ為シタリ、午後五時頃銀行ノ帰途散歩ヲ為シ又夕飯後モ散歩シ、十一時過ニ寝ニ就ケリ、本日ハ明日ノ郵便ニ差出スヘキ留守宅へノ書状ヲ認メタリ

廿五日

例刻二起キ朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ行キタリ、本店并大東氏へノ書状ヲ認メ本日ノ郵便ニ差出セリ、又本日ノ郵便ニテ当所出張所検査報告書モ本店へ差出セリ、帰途散歩シ六時半ニ帰宿セリ、然ルニ俄ニ暴風雨ヲ催シ時々霰ヲ飛セリ、然レトモ九時過ニ到リ雨止ミタレハ近所ヲ散歩シ、十一時過ニ寝ニ就ケリ

廿六日

午前七時二起キ公園ヲ散歩シ、朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ出掛ケタリ、中井氏ノ書状并本店ヨリノ電信ヲ落セリ、午後川島氏ノ案内ニテユリスピラア氏ヲ訪ヒ銀貨問題ニ関スル談話ヲ為セリ、銀行ヨリノ帰途市川氏ノ案内ニテ絹物類ヲ少々買ヒ、夫ヨリ当市ノ高丘ニナリ居ル所へ散歩セリ、夕飯後市川氏方ニ寄り、十時頃ヨリ近所ヲ散歩シ、十一時過ニ寝ニ就ケリ

二十七日

例刻二起キ例ノ如ク散歩シ、八時ニ朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ出掛ケタリ、川島氏ノ案内ニテデグラン商会并シイベルレシクハド商会等ヲ訪ヒ主人等ニ面会セリ、午飯ハ小野ノ案内ニテ食シ、又夫ヨリ同氏ノ案内ニテ手籠杯ヲ買ヒ二時ニ銀行ニ帰レリ、午後八日記ノ書取ヲ為シ、又中井氏へ書状ヲ認メタリ、午後五時ニ銀行ヲ去リ途中ヲ散歩シ、帰宿後直ニ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ市川氏ノ案内ニテ同氏家族等ト共ニ博覧会場ノ水上演戲ヲ見物ニ行キタリ、此演戲ハ池中ノ中央ニアル鳴ニ舞台ヲ造リ、白衣ヲ着シタル婦人等多出テ来リテ種々ノ動作ヲ為ス所ヲ電光ヲ以テ之ヲ照

シ、其色数百種ニ変スルモノニテ中々美観ナリシ、然シ舞台ト池ノ岸トハ余程離レ居タル為メ委敷見ルコトヲ得サリシナリ、十時過ニ帰宿セリ

九月廿八日 十月十二日

例刻ニ起キ例ノ如ク散歩シ、朝飯後直ニ銀行ニ行き、川島氏ノ案内ニテデジヨルジ商会ヲ訪ヒ主人ニ面会セリ、午飯ハ市川氏ノ招ニテ同氏宅ニテ馳走ニナリタリ、本日ハ日本便アリテ留守宅并園田氏へ書状ヲ出セリ、銀行ヨリノ帰途川島氏ト散歩シ、又夕飯後松尾氏ト市中ヲ散歩シ、十一時ニ寝ニ就ケリ

廿九日

例刻ニ起キ散歩シ朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、レイベル氏来訪種々談話セリ、午飯後小野氏ト暫時散歩シ、一旦銀行ニ帰り夫ヨリ川島氏ノ案内ニテジャケイアンドフアクウス銀行ヲ訪ヒタレトモ主人不在ナリ、過日来帰途独伯林へ巡廻スヘキ否決心セサリシカ、友人等ノ勸メニ從ヒ愈同地へ巡廻スルコトニ決シ、来月四五日ノ頃当地ヲ出立シジエネヴァヲ經テ伯林ニ立寄り、同所ニ兩三日滞在シテ龍動へ帰ルコトニナシタレハ、其旨中井氏迄報知シ、且ベデカルノ旅行案内書ノ事并ニ龍動下宿所ノ事ヲ依頼シヤリタリ、又今日ノ来便ニテ今西氏へ書状ヲ出シ、荒西氏ノ写真ヲ送付シ呉レシコトヲ謝セリ、銀行ノ帰途所々散歩シ七時ニ帰宿セリ、夕飯後モ亦市川氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ日本人四五名ニテ散歩ニ出掛ケカフヘニ立寄り一時頃ニ帰宅セリ

三十日

本日ハ日曜日ナレハ午前八時ニ起キ朝飯ヲ喫シ、松尾氏ト散歩ニ出掛ケタレトモ、余り寒風強カリシケレハ、博覧会ニ行キ場内ヲ散歩セリ、十二時頃同所ヨリ帰り、武沢氏ノ室ニテ同氏手製ノ午飯ヲ喫シ、夫ヨリ市

川氏ヲ訪ヒタリ、午後二時過ヨリ松尾、小野氏等ト共ニ川島氏ヲ訪ヒ、同氏ノ案内ニテソヲ又河トロヲ又河ト合流スル所ヲ見物セリ、同所迄ハ二里不足モアリテ中々疲労セリ、今夕ハ宮川領事新着ヲ祝スル為メ、同氏并福田氏等ヲ料理店ニ招キ置キタレハ、帰途直ニ同所ニ行キ共ニ夕飯ヲ喫シ、主客歡ヲ尽シテ一時頃ニ帰宿セリ

十月一日

午前八時ニ起キ朝飯ヲ終リ直ニ銀行ニ行キタリ、本日モ寒氣強ク殆ント初冬ノ景色ナリ、日本ヨリ郵便到着、留守宅、園田氏、大海原氏并兼竹氏等ヨリ書状ヲ受取りタリ、帰途川島氏ト散歩シ七時ニ帰宿セリ、夕飯後ハ余り寒風吹キ居タレハ散歩ヲ止メ、市川氏方へ行キ談話ニ時ヲ移シ、十時過ニ寝ニ就ケリ

二日

午後八時ニ起キ朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ行キ、午後福田氏ノ案内ニテ絹物屋ニ到買物ヲ為セリ、今日ハ銀行ノ社員ヲ夕飯ニ招キ置キタレハ、六時ヨリ料理店ニ行キ社員等一同ト共ニ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ玉突屋へ行キ十二時頃ニ帰宿セリ

三日

午前七時半ニ起キ散歩シ朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ行キタリ、過日中井氏へ依頼シ遣シ置タルベデカル氏独逸案内書到達セリ、今日ハ川島氏等一同ト市川氏ノ宅ニテ午飯ノ馳走ニナリタリ、午後五時過ヨリ川島氏ト共ニ停車所迄散歩シ、夫ヨリ福田氏ノ招キニ依リ、料理店ニテ夕飯ノ馳走ニナリタリ、本日ハ終日腹合悪敷カリシニ、二度ノ御馳走ニハ随分困却セリ、中井氏へ書状ヲ出シ、明日ヨリ伯林へ向ケ当地出立スル見込ナルコトヲ申遣セリ、今夜モ帰宿セシトキハ既二十二時ナリシ

四日

午前七時二起キ荷物ノ意用ヲ為シ朝飯ヲ喫シタレトモ、昨日来ノ腹合更ニ癒ヘス、少々痛ミヲ催シケレハ灰爐ヲ入レ腹部ヲ煖メ、又ストヴヲ燃キ頻リニ加養セシモ、午後二到リ尚ホ未タ快カラス、又雨モ頻リニ降り居タレハ、出立ハ明日迄延引スルコトニ決シ、其旨中井氏ヘモ書状ヲ出セリ、夕飯後市川氏宅ヘ行キ暫時談話シ、十一時頃帰宿セリ

五日

午前八時二起キ朝飯ヲ喫シタリ、今朝ハ腹合モ大ニ快方ナレハ、銀行ニ行キ要事ヲ弁シ、十二時過ニ同所ヲ去リ、同仲会社ニ立寄り福田氏ニ暇乞ヲ為シ、一旦帰宿シ昼飯ヲ喫シ三時頃ヨリ下宿ヲ出立シ、川島氏宅ヘ立寄り暇乞ヲ為シ、四時ノ汽車ニテジエネヴニ向ヒ出立セリ、福田、市川、小野、其他知人等停車所迄見送りニ来レリ、今日ハ折悪敷雨天ニテ途中ニテ充分景色ヲ詠ムルコトヲ得ス、途中ニテ一度車ヲ乗替ヘ八時半頃ニジエネヴニ到着シ、直ニホテルメトルポラルト云旅館ニ投宿セリ、同館ニハ英語ヲ解スル者沢山居レハ万事ニ差岡ナカリシ、川島氏ヘ電報ヲ出シ、明日見物スヘキ場所ヲ松尾氏ト相談シ、十時半ニ寝ニ就ケリ

六日

午前七時半二起キ朝飯ヲ喫セリ、昨日来ノ降雨ハ幸ヒ今朝ニ到リ止ミタレハ、松尾氏ト共ニ湖辺并市中ヲ散歩シ所々見物ヲ為シ、十二時ニ帰館シ昼飯ヲ喫シ、午後二時頃ヨリ馬車ヲ雇ヒ湖辺五六哩ノ所ヲ遊乗シ六時ニ帰館セリ、当所ハ世界中ニテ有名ナル好風景ノ場所丈アリテ、湖辺ノ景色ハ中々妙ナリ、又市中モ至テ綺麗ニシテ小巴里トデモ云フヘキ様ナリ、当所ハ欧米各国ノ富豪者ノ夏季来遊スル所ニテ、立派ナル旅館數多アルノミナラス、美麗ナル別荘モ沢山アリ、夕飯後モ又松尾氏ト散歩ニ出掛ケ、音楽ノアル寄席様ナル所ヲ見物シ、十時ニ帰館シ早ク寝ニ就ケリ、コヲクト云会社ニテ龍動迄ノ鉄道切手ヲ買ヒ、帰途ノ道筋ヲ極メタ

リ、又川島氏ヨリ電信ヲ落手セリ、明後日ハ龍動ヨリ日本ヘノ郵便出ノ日刻ナレハ、留守宅ヘ一書ヲ差出シ置キタリ

七日

午前七時半二起キ朝飯ヲ喫シ、直ニ松尾氏ト共ニ湖辺ノ散歩ニ出掛ケタリシニ、今朝ハ天気晴朗湖辺ノ景色最モ極ナリ、十一時頃ニ帰館シ午飯ヲ食シ、十二時半ノ汽車ニテ伯林ニ向ヒジエネヴヲ出立セリ、夫ヨリ汽車ハ湖水ノ北岸ヲ添ヒ走ルコト二時間余ニシテ、湖水ノ南岸ヲ詠ムレハ寝々タル高山ニ三重ニナリ、何レモ絶頂ニ白雪ヲ戴キ実ニ無類ノ景色ナリシ、確トハ知ラサレトモ此湖水ハ近江ノ湖水ヨリ大ナルベシ、午後八時ニバアルト云所ニ着シ、同所ニテ車ヲ乗替ヘ、十時半ヨリフランクフラトト云所ヘ向ケ出立セリ、今夜ハ別ニ眠車ヲ取ラサリシカハ、衣服モ其俣ニ松尾氏ト共ニ車内ニゴロネシテ夜ヲ明カセリ、スイツルランド國ハ唯風景ノ美麗ナルノミナラス、田舎ノ奇麗ニシテ且家屋杯ノ立派ナルニハ驚キ入りタリ

八日

午前六時ニフランクフラトノ停車所ニ着ス、直ニ待合室ニ入レハ朝飯ノ用意アリ、終夜ノ動揺ニテ大ニ空腹シ居レハ、直ニ朝飯ヲ食ヒ暫時休息スル内出車ノ時刻トナリ、午前八時ニ同所ヲ出立シ、ペブラアト云市ヲ經テ午後五時ニ伯林府ヘ着セリ、同所ニテハ停車所近接ノセントラルホテルト云旅館ニ投宿シ、入湯ヲ為シ夕飯ヲ喫シ市中ノ散歩ニ出掛タリ、旅館ノ近所ハ当府ニテ最モ繁昌ナル所ト見ヘ、家屋店先等何レモ立派ニシテ人出ノ多キコト殆ント巴里ノ最モ夜繁昌ノ所ニ似タリ、十時頃帰館シテ直ニ寝ニ就ケリ、今日汽車ニテ經過シタル所ハ総テ独逸國領ニシテ重ニ畑、森林、原野ナリ、此辺ハ別ニ見ルヘキ風景モナク、唯見ニ付キタルハ昨日經過シタルスイツルランドニ比スレハ土地惡敷、田舎ノ家屋



杯ノ粗造ナルニ在リ、又今一ツ目ニ付タルハ屋根瓦ノ色赤煉瓦同様ナルニアリ

九日

午前八時二起キ朝飯ヲ終リ、中井氏ニ電報ヲ發シ川島氏へ書状ヲ出シ、夫ヨリ松尾氏ト共ニ日本公使館ヲ訪ヒ青木公使始メ宮岡、吉田、三増等ノ諸氏ニ面會シ、午後二時半ニ帰館シテ昼飯ヲ喫シ、夫ヨリ三増氏ノ案内ニテ市中ヲ所々見物シ、ビール店ニテ夕飯ヲ喫シタリ、此時雨ヲ催シ来レトモ差シタルコトニ非リケレハ、尚ホ所々見物シ十一時ニ帰館セリ十日

午前八時二起キ朝飯ヲ喫スレハ、中井氏ヨリ書状到着シタレハ直ニ返書ヲ出シ、夫ヨリ三増君ノ案内ニテウリエム第一世帝ノ住居セラレタル宮殿ヲ見物シ、夫ヨリ武器陳列所ヲ見物セリ、同所ニハ古今各国各種ノ武器并戰爭ニテ捕獲シタル武器、旗章等ノ類沢山アリタリ、夫ヨリブルースニ到リ取引所ノ現況ヲ見物シ市中ニテ昼飯ヲ喫シ、夫ヨリ汽車ニテポラツダムト云所へ行キ、フレドリク大帝ノ住居セラレタル宮殿并庭園ヲ見物シ、夫ヨリ馬車ヲ雇ヒ当地ニ在ル他ノ王宮并ニ貴族ノ別荘等ヲ遠見シ、又汽車ニテ七時ニ帰館セリ、今日見物シタルフレドリク大帝ノ宮殿ハ粗造ナルモノナレトモ、同所ノ庭園ハ広大ニシテ古キ樹木モ沢山アリ、中々結構ナル所ナリ、今夕ハ吉田氏ニ夕飯ノ馳走ニナリ、夫ヨリ同氏ノ案内ニテ曲馬ヲ見物シ、ビール店ニテ一酌シテ十二時ニ帰館セリ十一日

午前七時半ニ起キ出立ノ支度ヲ為シ朝飯ヲ喫シ、中井氏へ電報ヲ發シ暫時市中ヲ散歩シ、十一時五十分ノ汽車ニテベルリン府ヲ出立シ、午後九時二十分ニコロント云所ニ着セリ、同所ニテ十一時迄待チ車ヲ乗替ヘブラセルス府ニ向ヒ出立セリ、今夜ブラセルス府ヲ經テ明朝五時頃ニハラ

ステンンドト云所へ到着スヘキ見込ナレハ、今夜ハ眠車ヲ取ルコトヲ止メ、松尾氏ト共ニ車中ニテゴロ寝セリ、本日經過シタル土地ノ模様モ、独逸領ハ先日經過シタル所ノ様子ト差シテ異ナリタルコトナカリシナリ十二日

午前三時半頃ブラセルス府ニ着セリ、余等ハ同所ニテハ車ヲ乗り替ルコトモ入ラス、直ニ其俣ラステンドへ向ケ出車スルコトト承知シ居タルニ、停車所ノ役人來リテ頻リニ何ヤラ言ヒタレトモ、仏語ナレハ余等ニハ其意味分カラス、其内此汽車ハ同所ヨリ前ニ行カサルコト分リタレハ、不得止車ヲ下リ待合所ニ行キタレトモ、夜中ノコトニテ番人ノ外誰モ居ラス、然シラステンド行キノ汽車ハ午前七時ニ出発スルコト分リタレハ、先ツ夫レ迄ハ停車所ニテ待ツコトト決心シ椅子ニ腰掛待チ居タル内、夜モ明ケ來タレハ待合所ハ食物屋ノ人等モ追々出掛ケ來レハ、之レニ頼ミテ早々熱キコフイトパンヲ貰ヒ朝飯ト為シ、七時ノ汽車ニテ同所ヲ出立シ、十一時過ニラステンドニ着セリ、同所ハベルジエム国ヨリ英國ニ渡ル渡船場ナリ、同所ニ着スルヤ直ニ汽車ヲ下リ汽船ニ乗り移リ、十二時頃ニ同所ヲ出帆セリ、此渡場ハ有名ナル風波ノ悪敷所ナレトモ、幸ヒ今日ハ天氣好ク海上至テ静穩ナリケレハ、船中ニテ食事ヲ為シ甲板上ヲ散歩シ、大ニ昨日來ノ窮屈ヲ伸セリ、午後三時頃英領ドウアルニ着シ、直ニ汽車ニ乗移リ五時ニ龍動ニ帰着セリ、夫ヨリ直ニ銀行ニ行キ要事ヲ弁シ、六時半頃ヨリ中井、青木両氏ヲ誘ヒ共ニ夕飯ヲ喫シ、九時頃ニランガムホテルニ到リ、同所ニ松尾氏ト共ニ投宿スルコトト為シ、同氏ト共ニ暫時市中ヲ散歩シ、十一時ニ寝ニ就ケリ、本日九月八日出ノ日本便ヲ落手セリ(園田氏并留守宅ヨリノ書状ナリ)、又鍋倉氏ヨリノ書状モ落手セリ

十月十三日 同月廿四日

午前九時二起キ朝飯ヲ喫シ、旅館ヲ立去リ松尾氏ト共ニ下宿所ノ見物ニ行キタレトモ、思敷所ナケレハ一日銀行ニ行キ友人等ト相談セシモ、差当リ適當ノ場所心当リモナケレハ、今朝見物シテ一軒ノ家ニ行コトニ決定シ、直ニ松尾氏ヲ遣シ先方ニ相談セシメタリ、同家ニハ目下岡村氏モ下宿シ居ルナリ、銀行ニテ要事ヲ弁シ、孟買出張員ノコトニ付本店へ電報ヲ出シ六時過ニ銀行ヲ去リ、中井氏等ト途中ニテビールヲ一酌シ、離レテ新下宿ニ来リ、松尾氏ト共ニ夕飯ヲ喫セリ、夫ヨリ岡村氏モ共散歩シ玉突屋ニ立寄り十一時ニ帰宿セリ、今回ノ下宿所ハチイプストウプレイスト云街ニ在リテ家内ノ者并座敷等モ至極適當ナレトモ、余ノ如キ期限ノ短キ客ハ先方ニテ迷惑ノ由ニテ、他ノ客人アリ次第立去ルヘク約束シタレハ、又他ニ下宿所ヲ探索セサルヲ得サルコトトナリタリ、此チイプストウプレイスト云所ハ余カ先年下宿シ居タルホルボレイ、クレセントト云所ノ近所ナリ

十四日

本日ハ日曜日ナレハ午前九時二起キ朝飯ヲ喫シ、松尾氏ト共ニケンシングトンバアクヲ散歩シ一時ニ帰宿セリ、午飯後岡村氏ノ室ニテ談話シ居タル内、中井、間野其他ノ知人等來訪セリ、中井氏ハ余等ト共ニ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ岡村、間野、松尾ノ三名ト連立高田氏ノ宅ヲ訪ヒ、十一時頃迄暮ヲ囲ミテ帰宿セリ、今回ノ下宿所ニテハ自分達ノ注文ニテ食物ヲ造リ、自室ニテ食スルコトト為シケレハ大ニ便利ナリ

十五日

午前七時半ニ起キ朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、シヤンド氏來訪種々談話セリ、午後下着類ノ買物ニ出掛ケ、五時半頃銀行ヲ去リ、中井、青木両氏ト共ニ下宿所ノ搜索ニ出掛ケ七時ニ帰宅シ、夕飯後岡村、松尾ノ両氏

ト共ニ散歩シ玉突屋ニ立寄り、十時ニ帰宿シ、新聞紙等ヲ讀ミ十二時ニ寝ニ就ケリ

十六日

例刻ニ起キ朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ行キタリ、孟買ノコトニ付本店ヨリ返電アリタリ、午後服屋ニ行キ又ゴム合羽等ノ注文ヲ為セリ、六時ニ銀行ヲ去リ七時過ニ帰宿セリ、夕飯後松尾氏ト共ニ近所ヲ散歩シ又日本新聞紙ヲ讀ミ十一時ニ寝ニ就ケリ、本日日本便着、園田氏ヨリ書狀來リタレトモ留守宅ヨリハ便リナシ、今日ハ風邪ノ気味ニテ服藥ヲ始メタリ

十七日

今朝ハ風邪未タ快カラサレトモ押シテ例刻ニ起キ、朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、日本銀行ノ久保氏、吉田氏ト共ニ銀行ニ来リ面会セリ、夫ヨリ共ニ午飯ヲ喫セリ、午後ニ到リ頻リニ寒氣ト頭痛トヲ催シケレハ四時ニ銀行ヲ去リ直ニ帰宿シテ加養セリ

十八日

今朝ハ風邪ノ気味悪敷ケレハ午前十一時迄寝ニ在リタリ、夫ヨリ起キテ食事ヲ為シタレトモ、何分寒氣シタレハ終日室内ニ在テ加養シ、或ハ新聞紙ヲ讀ミ、或ハ日記ノ書取ヲ為シタリ

十九日

尚ホ風邪ノ気味ナレトモ、押シテ午前八時ニ起キ朝飯ヲ喫セリ、目下下宿シ居ル家ハ余ノ如キ一時滞在ノモノハ迷惑ナル趣ニ付、他ニ転居スル為メ松尾氏ト共ニ下宿屋ノ見物ニ出掛ケタルニ、幸日本公使館ノ近所ニ適當ノ家有リタレハ此ニ転居スルコトニ決シ、夫ヨリ銀行ニ出掛ケタリ、本店ヨリ余ノ帰朝ニ付電報ニテ尋問シ來レリ、依テ便船ノ都合ヲ船会社ニ聞合セタルニ、來月出帆ノ船ハ何レモ客室約東濟ニテ都合宜キ室ナシ、依テ本日日出立ノ日ヲ決スルヲ得ス、尚ホ船会社ニ談判ヲ遂ケ、其

上ノ都合ニヨリ決スルコトニナセリ、本日日本ヨリ郵便到着、園田氏并ニ留守宅ヨリ書状ヲ得タリ、留守宅ノ書状ハ九月十四日ト廿日付ノ書状ナリ、一昨日小田柿氏ヨリ書状来リタレハ其返書ヲ出セリ、午後五時半ニ銀行ヲ去リ六時半ニ帰宿セリ、夕飯後松尾、岡村氏等ト散歩ニ出掛ケ、十時過迄玉突屋ニ立寄りタリ、帰宿後新聞紙ヲ読ミ、十一時過ニ寝ニ就ケリ、本日鍋倉氏へ書状ヲ出セリ

十月二十日

午前八時二起キ朝飯ヲ喫シ転居ノ支度ヲ為シ、万事松尾氏ニ托シ余ハ銀行ニ行キタリ、昨日本店ヨリノ電信ニ対シ、余ハ来月中旬出立ノ筈ト返電ヲ出セリ、又本日ハ日本ノ郵便日ナレハ本店并留守宅へ書状ヲ出セリ、又川島氏へモ書状ヲ出シ、小野氏ノ余ト同行シテ帰国スヘキコトヲ申送レリ、午後五時半銀行ヲ去リ新下宿ニ帰レリ、当家ハラクスフヲドテラスト云所ニ在リテ、居室并食物等モ大ニ望ニ適セリ

二十一日

本日ハ日曜日ナレハ午前九時頃二起キ朝飯ヲ喫シ、松尾氏ト共ニハイドパークヲ散歩シ、夫ヨリ中井氏方へ行キ同家ニテ午飯ノ馳走ニナリ、八時頃ニ帰宿セリ、今夕ハ胸ノ工合悪敷ケレハ、ブランデイヲ服シ早ク寝ニ就キタレトモ、二三時頃迄安眠スルヲ得サリシナリ

二十二日

昨夜安眠ヲ得サリシ為メ、今朝ハ気分悪敷ケレトモ押テ例刻ニ起キ、少々朝飯ヲ喫シ銀行ニ行キタリ、長崎氏ニ書状ヲ出セリ、午後五時過ニ銀行ヲ去リ、途中ニテゴム合羽類ノ買物ヲ為シ、六時過ニ帰宿セリ、夕飯後松尾氏ト共ニ近傍ヲ散歩シツルシクヲ求メタリ、午後十一時過ニ寝ニ就ケリ

二十三日

一昨日ヨリ少々風邪ノ気味ナリシカ、今朝ハ大ニ快方ナリケレハ、冷水ニテ身体ヲ拭ヒ朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、途中ニテ印度行洋服ノ注文ヲ為セリ、シヤンド氏ニ書状ヲ出シ余ノ帰国期日ノ予定ヲ申送レリ、午後六時過ニ帰宿シ、夕飯後松尾氏ト共ニ岡村氏ヲ訪ヒタレトモ不在ナリ、依テ近傍ヲ散歩シ十一時過ニ寝ニ就ケリ、本日ハ銀行ノ店ニ為スベキ借家ノ見物ニ出掛ケタレトモ、適當ノモノヲ見当リ得サリシ

二十四日

例刻ニ起キ、十時頃ヨリ大雨ヲ侵シテ銀行ニ行キタリ、本日ハ終日頭部并胃部ノ工合悪敷甚困却セリ、川島氏へ書状ヲ出シ小野氏旅費ノコトヲ申送レリ、又林氏帰着シテ面会セリ、本日新聞紙上ニ日支間ノ兵義州并ニ旅順港近辺ニテ陸戦アリタル旨記載アリタレトモ其信否分明ナラス、午後六時ニ帰宿シ、夕飯後松尾氏ト共ニアルハンブラト云寄席ニ見物ニ出掛ケ、十二時ニ帰宿セリ、兼テ注文シ置キタル洋服并下着等送付シ来リタレトモ、適合セサル所アリタリ

十月二十五日 三十日ニ至ル

今朝ハ七時頃ヨリ頻リニ腹痛ヲ催シ便所ニ通ヒ、夫ヨリ一睡シ八時半ニ起キ朝飯ヲ喫シ、日記ノ書取ヲ為シ銀行ニ行キタリ、本日ハ日本便ニテ本店并留守宅へ書状ヲ出セリ、午後六時頃ヨリ日本人会ニ臨メリ、同会ハ二三十年前ヨリ当地在留ノ日本人ニテ設立タルモノニテ、先年余ノ当地ニ在リ時モ此会ニ臨ミタルコト数度アリタリ、今夕ハ日本領事官宅ニテ開会アリテ、出席者ハ官吏、商人、修学者等ニテ、二十名以上アリテ共ニ日本料理ヲ喫シ、演説等アリテ中々盛会ナリシ、十一時頃散会シテ帰宿セリ

二十六日

例刻二起キ朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ行キ、途中ニテ印度洋服店ニ立寄り、本日日本銀行ノ為メ金貨買入ノ電報到着セリ、六時ニ銀行ヲ去リ降雨盛ナレハ、途中ニテ雨傘ヲ求メタリ、本日ノ新聞紙ニ日本兵ヤルウ河ヲ渡リ小戦アリタル旨掲載アリ、然レトモ旅順港近傍ノ模様ニ付テハ何モ電報ナシ、夕飯後雨ヲ侵シテ松尾氏ト一時間程散歩シ、帰宿後読書シ十二時ニ寝ニ就ケリ

二十七日

例刻二起キ朝飯ヲ喫セリ、降雨甚敷ケレトモ直ニ銀行へ出掛ケ、午後五時銀行ヲ去レリ、今夕ハ中井、青木ノ両氏ヲ夕飯ニ招キ共ニ八時過迄談話シ、夫ヨリ一同連立テ公使館ニ行キ日支戦争ノ模様ヲ聞キタリ、日本兵ヤルウ河ヲ渡リ一戦勝ヲ得、キウレン城ヲ乗取リタルコトノ報知アリタレトモ、ホヲトヲサル近所ニ日本兵上陸ノ事ハ未タ確報アラサリシナリ、夫ヨリ内田、林氏ト一同連立同館ヲ出テカフイニテ一酌シ、十二時ニ帰宿セリ

二十八日

本日ハ日曜日ナレハ午前九時ニ起キ、朝飯後松尾氏共ニ岡村氏ヲ訪ヒ、明日ウインサル王宮見物ニ同行スルコトヲ約シ散歩シテ帰宿シ、午後飯松尾氏ト共ニキルポルンノ高橋氏ヲ訪ヒタレトモ不在ナリ、帰途公園ニ廻リ六時半ニ帰宿シ、夕飯後モ亦近傍ヲ散歩セリ

二十九日

例刻二起キ朝飯ヲ終レハ岡村氏来リ、共ニバアデングトン停車所ヨリウインサル王宮見物ニ出掛ケタリ、同所迄ハ下宿ヨリ二十哩余モアルヘシ、同所ニ着スルヤ折悪敷雨ヲ催シタレトモ、直ニ王宮ニ入り表室并馬部屋等ヲ見物セリ、同王宮ハ予想セシ程立派ナルモノニハアラサリシ、王宮外ノ料理店ニテ午飯ヲ喫シ、幸ニ雨止ミタレハ夫ヨリ馬車ヲ雇ヒ王

宮ノ庭園ヲ乗廻リ、五時頃ニ停車所ニ帰レリ、同庭園ハ広大ナルモノナレトモ殆ント森林ニシテ更ニ裝飾セシ所ナシ、汽車ニテ下宿ニ帰レハ殆ント七時ニナリ、岡村氏モ共ニ夕飯ヲ喫セリ、其内、内田氏来訪暫時ニ談話シ、余ハ又松尾氏ト共ニ散歩ニ出掛ケ、十一時ニ帰宿セリ

三十日

例刻二起キ、雨天ナレトモ朝飯後直ニ銀行ニ行キ、六時ニ帰宿セリ、本日ハ公使館并領事館ノ人達ヲホテルメトロホラルニ夕飯ニ招キ置キタレハ、帰宿後直ニ支度ヲ整ヘ同所ニ行キタ、不幸ニシテ雨天ナリシモ、七名ノ客人ト銀行ノ者三名都合十名ニテ大ニ歡ヲ尽シテ、十二時頃ニ帰宿セリ

十月三十一日 十一月九日ニ至ル

例刻二起キ銀行ニ行キタリ、本日ハ日本へノ郵便日ナレハ、本店并留守宅へ、書状ヲ認メタリ、風邪ノ為メ一ヶ月斗モ入湯セサリシカハ本日ハ入湯セリ、午後六時半帰宿シ、夕飯後松尾氏ト散歩シ岡野氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ岡野氏ト同道高橋氏ヲ訪ヒ、暫時暮ヲ囲ミ十二時頃ニ帰宅セリ

十一月一日

例刻二起キ朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、午後五時過キ銀行ヲ去リ、高橋氏ト共ニ同氏ノ下宿ニ行キ同所ニテ夕飯ヲ喫シ、十時頃迄暮ヲ囲ミテ帰宿セリ

二日

例刻二起キ朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ行キタリ、本日ハ氣候ノ悪ル熱カリシ為メ、余ノ頭胃ニ感シ大ニ気分快カラス、依テ早ク銀行ヲ去リ、途中公園ヲ散歩セリ、夕飯後松尾氏ト共ニ散歩シ岡村氏ヲ訪ヒ、又散歩シ玉突屋ニ立寄り、十一時ニ帰宿セリ、本日川島氏ヨリ書状ヲ落手セリ

三日

昨夜ハ可也安眠ヲ得タレトモ今朝尚ホ頭胃ノ工合悪シ、然レトモ押シテ  
例刻ニ起キ朝飯ヲ喫シ銀行ニ行キタリ、川島氏へ返書ヲ出セリ、本日ハ  
天長節ニテ日本公使館ニ宴会ヲ催アリ、余モ兼テ案内ヲ受ケ居レハ、午  
後五時頃銀行ヲ去リ、一旦帰宿シ衣服ヲ改メ、七時ヨリ同館ニ行キタ  
リ、今夕会シタル日本人六十名余ニシテ種々演説等アリ、中々盛会ナリ  
シ、余モ久々ニテ一片ノ演説ヲ為セリ、帰宿セシハ十一時二過ナリ

四日

日曜日ナレハ午後九時ニ起キ、朝飯後松尾氏ト共ニ岡村氏ヲ訪ヒ、夫ヨ  
リ共ニ公園ヲ散歩シ一時頃帰宿シ、岡村氏モ共ニ午飯ヲ喫セリ、午後余  
ハ高橋氏ヲ訪ヒタルニ、福原、間野、各務氏等来会シ、共二十時頃迄  
碁、其他ノ戯ヲ為シ帰宿セリ

五日

例刻ニ起キ朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、シヤンド氏来訪後日同氏ノ銀  
行ニ於テ同行ノ取締役フレザル氏ニ面会スルコト并ニ来ル金曜日同氏宅  
へ行クコトヲ約セリ、本日日本便到着本店并留守宅及ヒ日野、大戸氏等  
ヨリノ書状ヲ受取タリ、留守宅ヨリノ書状中ニ鏡次郎ヨリ父上へ差出シ  
タル書状アリテ、鴨緑江口海戦ノ模様并ニ同人ノ無事ナルコトヲ知レ  
リ、午後六時ニ帰宿シ、夕飯後岡村氏ノ誘ニテ松尾、伊藤氏等ト共ニア  
コアリヤムト云所へ行キ、軽業、手品等ヲ見物シ、十一時ニ帰宿セリ

六日

例刻ニ起キ銀行ニ到リ、午後六時ニ帰宿セリ、夕飯後松尾氏ト近傍ヲ散  
歩シ帰宿シテ、日本新聞紙ヲ読ミ、十二時ニ寝ニ就ケリ

七日

例刻ニ起キ朝飯ヲ喫シ直ニ銀行ニ行キ、午後ヨリ中井氏ヲ同伴シアライ

ランス銀行ニ行キ、シヤンド氏并フレイザル氏ニ面会シ公債ノ事ヲ談話  
セリ、午後四時過銀行ヲ去リ、帰途松尾氏ト共ニシイヴルサルヴィス協  
同店へ行キ種々買物ヲ為シ七時ニ帰宿セリ、途中非常ナル風雨ニ出逢  
ヒ、乗合馬車ノ上ニテ甚困難セリ、夕飯後雨少シク止ミタレハ、松尾氏  
ト共ニ散歩シ、岡村氏ヲ訪ヒタルトモ同氏不在ナリ、帰宿シテ十一時過  
迄日本新聞紙ヲ読ミタリ

八日

例刻ニ起キ銀行ニ行キタリ、シヤンド氏へ書状ヲ出セリ、又川島氏へ書  
状ヲ出シ余ノ出立ヲ本月三十日ノ船迄延スコトヲ通知セリ、余ハ本月十  
五日当地出帆ノ便船ニテ帰途ニ就クヘキ考ナリシカ、同船ニハ適當ノ船  
室ナク又要事モ尚ホ沢山アレハ、三十日ノ便船迄延スコトニ決定セリ、  
本日日本ヨリ来便着シ徳田氏ヨリ書状ヲ落手セシモ、本店并留守宅ヨリ  
ハ書状来ラス、午後六時ニ銀行ヲ去リ、帰宿シテ夕飯ヲ終レハ、岡村氏  
来訪共ニ散歩シ、玉突屋ニ立寄り、十一時ニ帰宿セリ

九日

例刻ニ起キ朝飯後直ニ銀行ニ出掛ケタルニ、本日ハロラド、メアルズ、  
シヨウ、デイト称シ、当市ノ知事改撰セラレテ就職シタルトキ知事始メ  
新任ノ役人等行列ヲ立テ、数多ノ兵隊、楽隊其他ノ護衛者ト共ニ市中ヲ  
巡廻スル例ナル、其旧例ヲ行フ日ニテ、其見物人ノ多キ為メ途中ニテ馬  
車ノ往来止トナリ、不得止歩行シテ銀行ニ行キタリ、夫ヨリ余モ日本海  
上保険会社代理店ニ行キ、同所ノ窓ヨリ其行列ヲ見物セリ、其有様ハ殆  
ント東京ノ山王祭ト異ナルコトナシ、本日ハ兼テシヤンド氏ヨリ招キヲ  
受ケ居タレハ、五時頃ヨリ林氏ト共ニシヤンド氏ヲ同氏銀行ニ訪ヒ、同  
氏ノ案内ニテ同氏宅ニ到リ、夕飯ノ馳走ニナリ家族等ト談話シ、十一時  
頃帰宿セリ

十一月十日 十六日ニ至ル

例刻二起キ例刻ニ銀行二行キタリ、日本へノ郵便日ナレハ本店并ニ留守宅へノ書状ヲ認メタリ、午後五時ニ銀行ヲ去リ、途中ニテ種々買物ヲ為シ、七時ニ帰宿シ夕飯後近所ヲ散歩セリ、本月中旬ニハ当地出立之積リナリシカバ、其旨予テ本店へ申遣シ置キタレトモ、便船ノ都合悪敷且要事モ未タ済ミ兼居リタレハ、本月三十日当地出帆ノ便船迄出立延引スヘキコトニ決シ、其旨日本店へ電報セリ

十一日

日曜日ナレハ午前九時二起キ朝飯ヲ喫シ、夫ヨリ松尾氏ト散歩ニ出掛ケ、岡村氏ヲ訪ヒ公園ヲ散歩シ一時ニ帰宿スレハ、中井氏来訪待チ居タリ、共ニ午飯ヲ喫シ四時頃迄談話シ、中井氏去リタル後、余ハ高橋氏方へ出掛ケ十時過迄同所ニテ碁ヲ囲メリ、帰途大雨ニ出逢ヒ大ニ困難セリ  
十二日

例刻二起キ例刻ヨリ銀行二行キタリ、十一時頃ヨリ林、岡村、中井氏等ヲ伴ヒ英蘭銀行内部ノ見物ニ出掛ケ、同行ノ各局ヲ見物セリ、然レトモ近來金庫ハ外人ニ見物ヲ許サ、ルコトトナリタル趣ニテ、之ヲ見物スルヲ得サリシハ遺憾ナリ、此銀行ハ英国政府ノ會計ヲ掌リ居ル英国第一ノ銀行ナルニモ不係、内部ノ質素ナルニハ感服セリ、本日ハ当地ノ主ナル日本商人等ヲ料理店ニ夕飯ニ招キ置キタレハ、一旦帰店シ六時頃ヨリ料理店ニ行キ、主客十名程ニテ共ニ夕飯ヲ喫シ大ニ歡ヲ尽セリ、帰途四五名ト玉突屋ニ立寄り十二時ニ帰宿セリ、本日ハ終日降雨セリ  
十三日

例刻二起キ例刻ヨリ銀行二行キタリ、日本ノ郵便到着留守宅并徳田氏ヨリ書状ヲ落手セリ、午後四時頃ヨリ林、岡村、中井氏等ト共ニ当国郵便

電信ノ本局ノ見物ニ出掛ケ各課ヲ見物セリ、其廣大ニシテ且事務ノ繁多ナルニハ実ニ驚キタリ、午後七時半ニ帰宿シ夕飯ヲ喫シ、又松尾氏ト共ニ散歩セリ

十四日

例刻二起キ例刻ヨリ銀行二行キタリ、午後二時ヨリ昨日ト同一ノ連中ニテ（岡村氏ヲ除キ）当国ノ造幣局ノ見物ニ出掛ケタル処、非常ノ風雨ニテ途中大ニ困難セリ、同局ニ到ルヤ約束ノ時間ヨリ大ニ遅レタレトモ、幸ニ見物ヲ許サレ各課ヲ見物セリ、同所ハ当国ノ造幣所ニシテハ其規模甚小ナリ、夫ヨリ一旦帰店シ六時頃ニ帰宿セリ、夕飯後松尾氏散歩ニ出掛ケ、岡村氏ヲ訪ヒタレトモ不在ナリ、十時頃ニ帰宿シ新聞紙ヲ讀ミ、十二時ニ寝ニ就ケリ、本日高木貞作氏へ返書ヲ認メタリ  
十五日

例刻ニ朝飯ヲ喫セシニ風邪気味ニテ頻リニ背部ニ痛ミヲ感セリ、然レトモ押シテ銀行二行キタリ、午後シヤンド氏ヨリ銀行ニ訪ヒ種々要談ヲ為シ、一旦帰店シ四時半ニ銀行ヲ去リ早ク帰宿セリ、夕飯後ハ外出ヲ見合セ加養シ居タル所、岡村氏来訪共ニ日本ノ新聞紙ヲ讀ミ、十一時ニ同氏去リタレハ直ニ寝ニ就ケリ、本日市川氏へ返書ヲ出セリ  
十六日

今朝モ尚ホ風邪全治セサレトモ、押テ例刻二起キ例刻ヨリ銀行二行キタリ、徳田、豊島氏等へノ書状ヲ認メ又シヤンド氏へモ書状ヲ出シ、午後五時ニ銀行ヲ去リ帰途公使館ニ立寄レリ、本日当地ノ新聞紙上ノ電報ニテハ日本兵ノ旅順港進撃ハ愈今日ノ如クアリタレハ、若シ公使館ニハ既ニ其戦争ノ模様ノ報知来リ居ランカト考へ、之ヲ尋タレトモ未タ何モ報知無之趣ナリシ、夕飯後モ風邪ノ為メ外出ヲ見合、在宿シテ日記ノ書取リヲ為シ居タルニ、日本ヨリ桑港迄同船シタル三井物産会社ノ人来訪シ

十時半頃迄談話セリ、同氏去ルノ後新聞紙ヲ読ミ十二時ニ寝ニ就ケリ

十一月十七日 二十七ニ至ル

例刻ニ起キ例刻ヨリ銀行ニ行キタリ、本日者日本ヘノ郵便日ナレハ、本店并留守宅ヘノ書状ヲ認メタリ、本日ハ風邪大ニ快方ナレハ高橋氏ノ案内ニテ帰途同氏ノ宅ヘ行キ、暮ヲ囲ミ夕飯ノ馳走ニナリ、十一時頃ニ帰宿セリ

十八日

日曜日ナレハ午前九時ニ起キ朝飯ヲ喫セリ、今朝ハ寒ニ当地ニ珍敷好天氣ナレハ、松尾氏ト共ニ公園ヲ散歩シ岡村氏ヲ訪ヒ、午後一時頃ニ帰宿セリ、然ルニ何如ナル事ヤラ、余ハ非常ニ疲労シ全ク食氣ヲ失ヒ、碌ニ午飯ヲ喫スルコト能ハサリシ、本日ハ中井氏方ヘ行クヘキ約束ナリシラ之ヲ見合セ在宿シテ休養セリ、午後七時過ヨリ少々氣分モ直リタレハ暫時読書シ、十一時ニ寝ニ就ケリ

十九日

午前九時ニ起キタルニ、今朝ハ氣分モ大ニ快方ナレハ、少々朝飯ヲ喫シ銀行ニ出掛タルニ、時々発汗シテ氣息苦シク午後ニ到ルモ食氣ナシ、然シ押シテ少々スウフヲ飲ミ、二時半頃ヨリ林、岡村ノ両氏ト共ニ当地ノ商業会議所ニ行、マダガスカニ関スル演説ヲ聞キ、四時過ニ銀行ニ帰レリ、何分氣分悪敷ケレハ直ニ帰宿セリ、夕飯後岡村氏來訪頻リニ玉突ヲ勸メラレタレハ、押シテ近所ノ玉突屋ヘ出掛ケ、十一時過ニ帰宿セリ

二十日

昨夜ハ三四時頃ヨリ安眠ヲ得ス、今朝ハ氣分悪敷ケレトモ押テ九時ニ起キ少々朝飯ヲ喫シ、夫ヨリ青木氏ノ案内ニ同氏ノ知人ナル医師モリソント云者ノ所ヘ行キ、診察ヲ受ケタルニ病症差シタルコトニナケハ、一週

間モ休養スレハ全治スヘキトノ事ニテ安心シ、同氏ノ所劑ニテ薬ヲ求メ之ヲ服用スルコトニナセリ、午後ハ少々近所ヲ散歩シ其他ハ在宿シテ加養セリ、夕飯頃ヨリ中井氏來訪共ニ夕飯ヲ喫シ十時過迄談話セリ

二十一日

昨夜ハ可也安眠ヲ得タレトモ、今朝ハ又疲労ヲ覚ヘタリ、朝飯後公園ヲ散歩シ、又午飯後松尾氏ト共近所ニ日本ヘノ土産物ヲ買ニ出掛ケ、頻リニ保養セリ、夕飯後八家内ニテ運動シ十一時頃ニ寝ニ就ケリ、今日日本ヨリ郵便着シ、園田氏ヨリ書状來リタレトモ、留守宅ヨリハ信書ナシ、蓋シ余ハ此頃ハ既ニ当地出立セシモノト想像シテ書信ヲ止メタルモノナルヘシ

小生健康ナルトキハ中々歌杯ハ出サレトモ、病氣ノ時ハ感慨多ク左ノ三首ヲ得タリ

世の中ニつらきためしハ多けれと旅のなやみニますものハなし

帰り行旅の心ハいそかれてはや目ニみゆる門の桜木

思わじと思へど思ふ古里の都の春ハちかつきニけり

二十二日

昨夜ハ安眠ヲ得今朝ハ氣分大ニ宜シ、九時ニ起朝飯ヲ喫シ、銀行ニ行キ要事ヲ弁セリ、午後四時過ニ銀行ヲ去リ、帰途洋食ノ器物ヲ買ヒ六時ニ帰宿セリ、夕飯後ハ荷物ノ方付ヲ為シ、又室内ニテ運動シ十一時ニ寝ニ就ケリ、本日ハ日本郵便日ナリシモ要事アリテ書状ヲ認ムル暇ナカリシカハ、小供ニ絵画ニ巻送り端書ヲ差出シ置キタリ

二十三日

加養ノ為メ当所ヨリ六十哩程隔リタル海濱ノブライント云所ヘ三四日出掛ケント昨日來計畫シ居タルニ、今朝九時ニ起キ朝飯ヲ喫セシニ、氣分モ大ニ快方ナレハ直ニ旅装ヲ整居リシ所ニ、岡村氏モ余ト同行スヘキ

旨中井氏ヨリ報知アリタルニヨリ、直二岡村氏ヲ訪ヒ午後ヨリ同行スル  
コトノ打合ヲ為シ、同氏ト連立余ノ下宿ニ戻リ、共ニ午飯ヲ喫シ、午後  
三時過ノ汽車ニテ同所へ出發セリ、同所停車所ニ着スルヤ、日ハ既ニ暮  
レテ何方モ見物スルヲ得ス、直ニ馬車ヲ雇ヒ格蘭ドホテルト云旅館ニ  
行キタリ、同所ニハ兩三日前ヨリ高橋氏來宿シ居リタレハ間モナク同氏  
ニ面会シ共ニ夕飯ヲ喫シ、種々談話シ玉突室ニテ岡村氏ト玉ヲ突キ、十  
一時二寢ニ就ケリ

二十四日

午後九時二起キタレハ中井氏ヨリ書狀來レリ、朝飯後大便ノ不充分ナリ  
シ為メ腹合悪敷<sup>(マ)</sup>ケトモ、三人連立海岸ノ散步ニ出掛タリ、今朝ハ非常ノ  
好天氣ニテ海辺ノ空氣一層良敷ヲ覺ヘタリ、午後モ亦海辺ヲ散歩シ又玉  
突ヲ為シ大ニ保養セリ、中井氏へ書狀并電信ヲ發セリ、又同氏ヨリモ返  
電アリタリ、今日ノ新聞紙上ノ電報ニ依レハ、日本兵ハ愈去ル廿一日旅  
順港乗取リタル趣ナレハ、明朝ノ新聞紙ニハ其確報アラシコトヲ希望シ  
テ十一時過寢ニ就ケリ

二十五日

昨日來大便不充分ニテ腹合悪敷ケレハ、今朝ハ下劑藥ヲ服シタレトモ更  
ニ其効ナシ、朝飯後新聞紙ヲ見ントセシモ本日ハ日曜日ニテ平日ノ新聞  
紙ナシ、稍々往來ニ出日曜新聞ヲ買ヒ之ヲ見タルニ、旅順港乗取ノ事ハ  
愈相違ナキニ似タリ、同行三人ハ大愉快ニテ共ニ海岸ヲ散歩セリ、余等散  
歩ヨリ帰り午飯ヲ喫シ居タル所ニ高橋二郎氏來着、直ニ食堂ニ案内シ共  
ニ午飯ヲ喫シ、夫ヨリ馬車ヲ雇ヒ一同デウイルスダイクト云所へ行キタ  
リ、同所ハ旅館ヨリ五六哩隔タリタル高丘ノ地ニシテ山野ノ景色最モ美  
妙ナル場所ニテ、当所ヨリ多ク人ノ見物ニ出掛ル所ナリ、同所ニハ旅館  
兼料理屋アレハ、同所ニ一休シテ日暮ニ歸館セリ、夕飯後一同海辺ヲ散

歩シ、高二氏ハ夫ヨリ龍動ニ歸レリ

二十六日

昨日下劑藥ヲ服シタレトモ其効ナカリシケレハ、今朝ハ又多量ニ用ヒタ  
レトモ少々其効アリタルノミニテ充分ナラス、依テ朝飯後モ矢張腹合悪  
敷カリシ、朝飯後海岸ヲ二時間余散歩シ午後ハ当所ノ水族館ヲ見物シ又  
海岸ヲ散歩セリ、夕飯後ハ大ニ疲労ヲ覺ヘタレハ、外出ヲ見合セ館内ニ  
テ玉突ヲ為シ十一時二寢ニ就ケリ、本日ノ新聞紙ニハ旅順港攻撃ノ模様  
委細記載アリタリ、中井氏ヨリ書狀來リ徳田氏死去ノ報知アリタル旨申  
越セリ、又松尾氏ヨリモ書狀來レリ

二十七日

午前八時半二起キ温湯ヲ飲ミ大便ノ通シヲ催シ朝飯ヲ喫セシモ、更ニ其  
効ナシ、午前岡村氏ト海岸ヲ散歩シ、午後一時半ノ汽車ニテ三人同伴龍  
動ニ歸レリ、今朝中井氏ヨリ書狀ヲ以テ豊島氏等孟買ニ到着シタル旨電  
報アリタリト申越セリ、余ハ帰宿後モ何分大便ノ通シナク、腹合甚悪敷  
大ニ困難シ、夕飯モ碌ニ喫セス、只家内ヲ運動セリ、然レトモ尚ホ通氣  
ナケレハ臥寢ニ日本ヨリ持參シタル下劑丸藥ヲ多量ニ服シタリ、偕又過  
日來往キ居タルブライント云所ハ、當夏往キタルヘイステングト云所  
ト同シク瀬戸海ニ面シタル所ニテ、日本ニテ云ハハ丁度鎌倉ト大磯ト云  
位ノ違ニテ、冬向キ多ク人ノ行ク所ナリ、同所ハヘイステングヨリモ余  
程立派ニテ上等ノ人達ノ行ク場所ナリ

船中ニテ書取リタル為メ日本ノ紙箋ナク、又乱書ナリ

十一月二十八日

昨日未腹部ノ工合悪敷リシカ、今朝八時半二起キ朝飯ヲ喫シ終レハ便氣  
ヲ催シ相当ノ通シヲ得、大ニ快氣ヲ覺ヘタリ、明後日ハ余等ノ乗込ムハ



キヲリエンタル号当地ヲ出帆スル筈ナレハ、大ナル荷物ハ当地ヨリ先ニ同船ニ積ミ込ミ置ク為メ、荷作りヲ終リ船会社ノ荷物方ニ托シ、余ノ分三個松尾氏ノ分二個送出セリ、余ハ夫ヨリ医師ノ方ヘ行き診察ヲ乞ヒタルニ、別ニ異状ナシ、依テ過日来兩度ノ診察料二磅ヲ払ヒ、直ニ銀行ニ行キ要事ヲ弁シ園田氏并留守宅ヘノ書状ヲ認メ、之ヲ本日ノ米便ニ出シ、夫ヨリ岡村氏ト共ニ銀行ヲ去リ、余ノ下宿ニテ共ニ夕飯ヲ喫、夫ヨリ同氏ト暫時玉突ヲ為シ、帰宿シテ新聞紙ヲ読ミ十二時ニ寝ニ就ケリ

二十九日

例刻ニ起キタレハ今朝ハ大ニ気分好シ、朝飯後直ニ銀行ニ行キタリ、午後アライアンス銀行ニ行キ、シヤンド氏ヲ訪ヒ、同所ニテ同行取締役ノフレイザル氏ニ面会、行務上ノ事ニ付談話セリ、夫ヨリ余ハ銀行ニ帰ルヤアライアンス銀行ノ取締役兼支配人ノダン氏来訪セリ、是レハ余カ過日同氏ヲ訪ヒタル為メノ返礼ナリ、余ハ夫ヨリ里昂ノ川島氏ヘ出立ノ通知書ヲ出シ、夕刻ヨリ社員ノ招ニテ送別ノ宴ニ臨ミ、大ニ歡ヲ尽シ十一時過ニ帰宿セリ、本日菓物ナイフ類ヲ買ヒ、又シヤンド氏妻君ヘ贈物ヲ為セリ

三十日

例刻ニ起キ朝飯後直ニ銀行ニ行キ、大方要事ヲ済セ、本店并孟買ノ豊島氏ヘ書状ヲ出シ、午後四時頃ヨリ銀行ヲ去リ、途中ニテ土産ノ指環ヲ買ヒ六時ニ帰宿セリ、今夕ハ銀行ノ社員(日本人)ヲ下宿ニ招キ夕飯ヲ供セリ、岡村氏モ来リ合閑話ヲ尽シ、社員等去ルノ後岡村氏ト玉突ニ出掛ケ十二時ニ帰宿セリ

十二月一日

例刻ニ起キタリシニ烟霧深クシテ往来ヲ見ルコト能ハス、朝飯後公使館ニ到リ暇乞ヲ為シ、夫ヨリ銀行ニ行キタリ、午前アライアンス銀行ノ支

配人エイフ氏ヲ訪ヒタレトモ不在ニテ面会セス、本日ハ久振りニテ不湯シ午飯ヲ喫シ要事ヲ済セ、午後四時頃ヨリ渡辺氏ノ案内ニテ福原、高橋二郎氏等トランガムホテルニ行キ、玉突ヲ為シ夕飯ノ馳走ヲ受ケ、十一時過ニ帰宿セリ、今夕ハ公使館ヨリモ夕飯ニ招ヲ受ケ居タレトモ、渡辺氏ノ先約アリタル為メ断リタリ、帰途烟霧ノ為メ、下宿所ヲ見出スコト能ハス、大ニ困難シ始メテ龍動ノ龍動タルコトヲ知レリ

天下最トモ名高キ龍動ハ霧ト烟ノ都ナリケリ

二日

本日ハ日曜日ナレハ朝飯後例ノ公園運動ニ出掛ケント欲シ、例刻ニ起キ朝飯ヲ終レハ、烟霧頻リニ催シテ殆ンド黄昏ノ如シ、其内間野氏来訪暫時談話スル内、中井氏ノ夫婦モ来訪セリ、夫ヨリ余ハ松尾氏ト共ニ中井氏夫婦ニ連達彼等ノ宅ニ到リ、午飯ノ饗応ヲ受ケ、午後六時頃ヨリ同夫婦ト共ニシヤンド氏ノ宅ニ到リ、種々饗応ヲ受ケ九時過ニ帰宿セリ

三日

例刻ニ起キ銀行ニ行キ悉皆ノ要事ヲ済セ、取引先銀行ニ暇乞ニ行キ、午後水コシ、石油暖爐等ヲ買ヒ、午後六時ヨリ林領事ノ招ニテ同氏ノ宅ニ行キ、知人数名相会シテ夕飯ノ馳走ニナリ、十時過ニ帰宿シ明朝出立ノ支度ヲ整ヘタリ

四日

午前八時ニ起キ朝飯ヲ喫スレハ中井氏来訪、又続テホラルバイリス氏モ来訪セリ、午前十時過ニ下宿ヲ出立シウイクトリヤ停車所ニ来レハ、知人等十余名見送ノ為メ同所ニ来集セリ、依テ同所ニテ別杯ヲ傾ケ十一時ノ汽車ニテ松尾氏ト共ニ出立セリ、途中英国内ハ烟霧非常ニ深カリシカ、ドヴルヲ渡リ仏領ニ入ルヤ烟霧ナク、又其渡場ノ海上モ平穏ナリ、船中ニテ午飯ヲ喫シ二時ニカレイスニ着シ、同所ヨリ汽車ニ乗り特別室

ヲ取りタレハ、松尾氏ト兩人ニテ一室ヲ占領シ大ニ便宜ヲ得タリ、午後七時ニ巴里ニ着シ直ニ馬車ヲ雇ヒチユリン行ノ停車所ニ來リ、同所ニテ夕飯ヲ喫シ九時ニ出立セリ、同所ヨリハ眠車ヲ取りタレトモ、車ノ構造不都合ニシテ終夜安眠スルヲ得サリシナリ

五日

午前七時ニ起キ窓外ヲ望メハ、路者歐州ニテ有名ナルアルプ山ニ入り、峩々タル高山左右前後ニ疊立シ、何レモ絶頂ニ白雪ヲ戴キ、其風景絶美ナリ、車中ニテコフイトバントヲ得之ヲ食シ、車窓ヨリ風景ヲ見物シナカラ行ク内ニモダント云所ニ着セリ、当所ハ伊国ノ国境ニテ税関アリ荷物ノ検査ヲ為セリ、同所ニテ又コフイヲ飲ミ暫時停車シテ、同所ヲ出ルヤ間モナク巒道ニ入り二十分程ニテ巒道ヲ出レハ滿目白雪実ニ名状スヘカラサル景色ナリシ、夫ヨリ追々アルプ山ヲ南下スルニ随ヒ広漠タル畑地ヨリヲリヴ樹ノ沢山植付ケアルヲ見タリ、午後二時半ニチユリンニ着シ、トルンベタト云旅館ニ投セリ、同館ニ到ルヤ小野氏ハ既ニ來着シ居レリ、一休シタル上三人連達市中并公園ノ見物ニ出掛ケタリ、当所ハ中々家屋杯ノ美麗ナル小都府ナリ、夕飯後モ亦市中ヲ散歩シカフイ店ニ立寄り九時ニ帰館シテ寝ニ就ケリ

六日

昨夜ハ余リ疲勞シタル為メカ時々夢ヲ見タレトモ今朝八時迄眠ルコトヲ得タリ、朝飯後三人連達王宮博物館等ノ見物ニ出掛ケタリ、当地ノ王宮ニハ現今誰レモ住居シアラレ共、中々立派ナルモノナリ、又博物館ニハ専ラエジプト古代ノ器具等陳列シアリ、其中ニモヲメイト称シテ数千年以前ノ人間ノ死体ヲ其俣保存シタルモノアリタリ、余等ハ一旦帰館シ午飯ヲ喫シ、馬車ヲ雇ヒ旅館ヨリ五六哩アル所ニテ伊国歴代ノ廟アル所ヲ見物ニ出掛ケタリ、同所ハ高丘ノ上ニアリテ四方ニ高山ヲ詠<sup>(歌)</sup>メ絶景ノ地

ナリ、又其廟室ノ結構ナルコト実ニ驚キ入りタリ、夫ヨリ急テ帰館スレハ時既ニ五時半ナリ、直ニ夕飯ヲ喫シ七時ノ汽車ニテ同所ヲ出立セリ、今夕ハ幸三人ニテ一室ヲ占領スルコトヲ得タレトモ、夜半過迄ハ安眠スルヲ得サリシナリ

十二月七日

午前二時ニボロニヤト云所ニ着ス、同所ニテ車ヲ乗替ヘタルニ幸ニ復タ三人ニテ一室ヲ占有スル事ヲ得タリ、汽車ハ直ニ同所ヲ出発シ速力ヲ増シテ進行セリ、夫ヨリ午前七時頃迄三人共就眠セリ、七時ニ小サキ停車所ニ着シ暫時停車シケレハ、同所ニテ一寸車ヲ下リコフイヲ飲ミタリ、汽車ハ同所ヲ發スルヤ間モナク海岸ニ出テタリ、此辺ヨリハ左ニ蒼海ヲ見テ右ヲリヴ林ノ高丘アリテ其景色中々美ナリ、夕飯ニハ汽車中ニテ推參シテパンヲ食シ十時半頃ニブリンデシニ到着セリ、同所ノ停車所ニ着スルヤ直ニグランドホテル、イントルナアシヨナルト云旅館ノ馬車ニテ同館ニ行キ、入湯シテ直ニ寝ニ就ケリ

八日

午前八時半ニ起キ朝飯ヲ終リ、龍動ノ中井氏へ書状ヲ認メ又電信ヲ出し、夫ヨリ三人連達市中ニ散歩ニ出掛ケ所々見物シタルニ、当所ハ真ノ小港ニシテ家屋并ニ人民共甚見苦敷モノ多シ、午後ハ降雨ノ為メ散歩ノ為メ外出スルヲ得ス、無拋館内ニテ玉突等ヲ為シテ日ヲ消シタリ、夕飯後ニ到ルモ雨止マス、旅館内ニテ運動シ十時ニ寝ニ就ケリ

九日

午前八時半ニ起キタレハ、雨止ミ雲間ヨリ日光ヲ漏セリ、直ニ支度ヲ整ヘ門外ニ出レハ、ヨリエンタル号汽船ハ既ニ門前ニ來着シ居リタリ、余等ハ夫ヨリ追々朝飯ヲ喫シ旅館ヲ去リ汽船ニ乗込ミタリ、然レトモ該船

本日夜半ニ非レハ出帆セサルニ依リ、余等ハ又々市中ノ見物ニ出掛ケ、暫時散歩スル中ニ大雨ヲ催セシカハ、同汽船会社ノ新聞縦覧室ニ入り終日ヲ送レリ、午後九時頃龍動ヨリノ郵便汽車來着、同汽車ニテ來リタル船客中々沢山アリテ、何レモ直ニ乗船セリ、然レトモ郵便物非常ニ沢山アリテ、其積込ミハ十二時半ニ到ルモ尚ホ未タ結了セス、依テ余ハ出帆ヲ待兼寝ニ就キタリ、此ヲリエンタル号ハ二千七百十一頓モアル汽船ニテ中々立派ナルモノナリ、又今回ノ乗客ハ上等中等ヲ併セテ二百人程モアリテ船室ハ大方充滿シ居リ、船中中々混雜ナリ

十日

午前八時ニ起キタレハ船ハ既ニ進行中ナリ、直ニ支度ヲ整ヘ甲板上ニ出レハ、天氣晴朗海上ノ景色壯快ナリ、朝飯後甲板上ヲ散歩シ居レハ、間モ無ク船頭ノ左方ニ当リグリイキ島ヲ見タリ、夫ヨリ船ハ常ニ該島ヲ左ニシテ進行セリ、昼頃ヨリ雨ヲ催シ甲板上ノ運動ヲ妨ケタレトモ、午後四時頃ニ到リ雨止ミ、夕飯後ハ天氣快晴シ海上ノ明月一層風景ヲ添ヘタリ、此ニ一首ヲ得タリ

船ノ動揺中明月ヲ詠め

「落ルかと待てど落なむ船の月」

昨夜二時頃出帆シテヨリ今正午迄ニ船ハ百四十四哩ヲ進行セリ、今夕ハ明月ヲ見ナカラ頻リニ甲板上ヲ運動シ、十一時過ニ寝ニ就ケリ

十一日

午前七時半ニ起キ窓ヲ開ケハ天氣快晴ナリ、今朝ハ海水湯ニ入ラント欲シ、昨夜ヨリ小使ニ命シ置キタレトモ、百三四十人ノ客人ニ対シ五六ヶ所ノ湯場故容易ニ順番來ラス、待ツコト一時間程ニテ順番來リタレハ直ニ入湯シ、夫ヨリ朝飯迄甲板上ヲ運動セリ、本日モ午前午後共左方ニ種々ノ島嶼ヲ見タリ、昨正午ヨリ今正午迄ニ三百五十四哩ヲ進行セリ、

本日ハ終日好天氣ナリシケレハ、頻リニ甲板上ヲ運動シ、疲レレハ或ハ新聞紙ヲ讀ミ、或ハ日記ノ書取ヲ為シタリ、夕飯後モ亦甲板上ヲ運動シタルニ、今宵ハ明月ノ景色一層好ク、左ノ一詩ヲ得タリ

「行程万里帰期遠、今夕頻催故国情、独立船頭望天外、地中海上月

清明」

十一時過迄甲板上ヲ散歩シテ寝ニ就キタリ

十二日

午前八時ニ起キ甲板ニ出レハ、天氣晴朗海面蒼々、風ナク雲ナク真ノ好天氣ナリ、暫時甲板上ヲ運動シ居ル内朝飯トナリタリ、本日モ亦昨日同様終日運動ト日記ノ書取等ニテ時ヲ消シタリ、本日ハ途中ニテ三四回他ノ汽船ヲ見タリ、午後五時半頃ボートセイドニ到着セリ、同所ハスエス運河ノ入口ニテ各汽船ノ石炭ヲ積込場所ニテ、兩岸ニハ人家モ沢山アリ中々繁昌ナル所ト見受ケタリ、船ハ当所ニ二時間余滞在スル由ナレハ、松尾、小野氏等ハ他ノ船客ト共ニ上陸シテ市中ノ見物ニ行キタレトモ、余ハ其雜沓ヲ恐レ上陸ヲ見合セ、甲板上ヨリ船客ノ出入、又土人カ種々ノ物品ヲ売リニ來ルヲ見居タリ、当所ハ煙草ノ名物ナレハ之ヲ買ヒタリ、夕飯後暫時甲板上ヲ運動シ居ル内、船ハ進行ヲ始メ運河ニ入りタリ、此運河ハ先年專ラ英國ノ資金ヲ以テ掘割リタルモノニテ、之レカ為メ欧州ト亜細亞トノ商業上ニ与ヘタル便益ハ実非常ナルモノナリ、此運河ノ長サハ八十七哩トノコトナレトモ、其幅ハ大凡五六十間ナラシカト思ハル、依テ汽船ノ行違フ時ニハ一方ハ進行ヲ止メ場所ノ広キ所ニテ他ノ船ヲ待合セ、其行キ違フヲ待テ進行ヲ始ムルナリ、余ノ乗り居ル船モ今夜既ニ他ノ汽船ト行違ヒ其船ヲ待チ受ケタリ、夫ヨリ十時過迄散歩シ入湯シテ寝ニ就キタリ

十三日

午前八時二起キ窓外ヲ望メハ、船ハ河中ヲ進行シツ、アリ、夫ヨリ支度ヲ整ヘ甲板上ニ来レハ、天氣快晴運河ハ茫茫タル沙漠ノ中ヲ流レ居レリ、又折節所々ニ人家ヲ見タリ、是レハ蓋シ土人ノ家モアレハ又欧州人ニテ此運河ノ工事ノ為メ来往シ居ルモノ、家ナルヘシ、又所々ニ土人ノ何ヤラ仕事ヲ為シ居ルヲ見タリ、又所々ニ土人ノ駱駝ヲ引来リシヲ見タリ、暫時甲板上ヲ運動シ居ル内朝飯トナリ、朝飯ヲ喫シ又々運動ヲ始メタリ、今朝ハ必ス暑氣ヲ増スヘク思ヒ居タルニ、予想ニ違ヒ却テ昨日ヨリ寒キ位ナレハ、折角着替タル衣服ヲ又着替ヘテ冬服トナリタリ、今朝六時頃イスメリヤト云所ニ着シ、船客ノ上下アリタル趣ナレトモ、余ハ當時眠リ居タルモノト見ヘ更ニ之ヲ知ラサリシナリ、午後二時半頃スエスニ着シ、暫時海中ニ停船シ郵便物ノ受授ヲ為シ、四時頃ニ出帆セリ、此スエスト云所ハ運河ノ出口ニ在ル小村ニシテ、即チ当村ニ由テ此運河ヲスエスト稱スルナリ、スエス運河ハ長サ八十七英哩ニシテ、汽船ハ之ヲ通過スルニ大底一晝夜ヲ費スナリ、汽船ハ同所ヲ出帆シ紅海ニ入ルモ、天氣快晴風ナクシテ至テ靜穩ナリ、余本日モ不相變運動ヲ為シ、夕飯後ハ甲板上ニテ明月ヲ詠メ、十一時ニ寢ニ就ケリ

(曉)

十四日

午前七時半ニ起キ直ニ入湯シ、衣服ヲ着ケ甲板上ニ来レハ、天氣ハ引続キ快晴又風モナクシテ海面至テ靜穩ナリ、然シ昨日ニ比スレハ氣候ハ大ニ溫氣ヲ増シタリ、夫ヨリ暫時運動シテ朝飯ヲ喫セリ、午前ヨリ大ニ溫氣ヲ増シ衣服ヲ着替タレトモ、殆ント日蔭ニ非レハ運動スルヲ得サリシナリ、昨日スエスヲ出帆シテヨリ今正午迄ニ三百二哩ヲ走レリ、午後ニハ船客等打寄リテ種々ノ競争遊ヲ為シ中々賑ナリシ、余ハ松尾氏并米國人ト共々カアドノ遊ヲ為シ、又頻リニ運動シタリ、夕飯後甲板上ニ来レハ月愈明ニシテ、海上ノ景色最モ妙ナリ、依テ余ハ散步觀月ニ今夕ヲ費

シ、十一時ニ寢ニ就ケリ

スエスヲ出帆シテ非常ニ溫氣ヲ増シタレハ、左ノ一句ヲ得タリ

「冬ト夏一夜ニ變ルスエス河」

此海ヲ紅海ト稱スレトモ別ニ海水ニハ異状ナシ、然シ夕陽ノ没スルトキニハ西天非常ニ赤クシテ海水ニ映セリ、是レ恐クハ紅海ト稱スル所以カ、左ニ二首ヲ得タリ

「風止テ空晴渡リ波靜夕日ニ染むる紅ノ海」

十五日

昨夜ヨリ溫氣非常ニ増加シ、殆ント安眠ヲ得サリシ程ナリ、午前七時半ニ起キ入湯シ、暫時甲板上ヲ散步シ朝飯ヲ喫セリ、船長ヨリ聞ク所ニ依レハ、昨日ノ溫氣ハ正午七十六度ナリシトノコトナレトモ、余ハ八十度以上ニ感セリ、依テ今朝ハ持參ノ寒暖計ヲ取出シ、余ノ室ニテ試ミタルニ、午前十時ニ八十二度ヲ呈セリ、午前一時急雨ヲ催シタレトモ、暫時ニシテ晴レタリ、依テ又不相變運動ヲ為セリ、昨正午ヨリ今正午迄ニ三百六十三哩ヲ走レリ、午後ニハ熱氣モ増シタレトモ、逆風強カリシ為メ大ニ凌キ好カリシナリ、然シ寒暖計ハ八十四度迄上レリ、本日午後モ不相變運動ヲ為シ又カアドノ遊ヲ為シ、夕飯後ハ又々運動シ、明月ヲ賞シ十一時ニ寢ニ就ケリ、本日左ノ一首ヲ得タリ

「時ならぬ熱さハ夏ニ優りけり十二月単衣の紅海の旅」

十六日

昨夜ハ熱氣非常ニシテ安眠ヲ得ス、今朝ハ疲労ヲ覚ヘタレトモ、寢ニ在レハ愈苦シケレハ午前七時ニ起キ冷水ニ浴シ、甲板上ニ来リ朝飯迄運動セリ、今朝モ天氣ハ快晴ナレトモ逆風強ク船体ノ動揺ヲ増シタリ、又四方ヲ見渡セハ白波万瀆景色甚妙ナリ、今朝ノ溫度ハ八十四度ナレトモ、逆風強キ為メ大ニ凌能カリシナリ、今日ハ日曜日ナレハ客人中ノ催シニ

テ説教アリタレトモ、余ハ之レニ赴カス甲板上ヲ運動シタリ、正午迄ニ三百三十二哩ヲ走レリ、昨夜熱ニ苦ミ眠ルコトヲ得ス、左ノ一首ヲ得タリ

「明くるまで眠もやらで冬の夜の熱さてなやむ紅海の旅」

午後モ亦逆風強カリケレハ大ニ凌キ好カリシ、依テ頻リニ甲板上ヲ運動セリ、夕飯後ニ到リ風力一層増加シタリ、十時過迄甲板上ニ在テ月ノ出ルヲ待ち、十一時過ニ寝ニ就ケリ、逆風ノ為メ甲板上ハ大ニ涼カリシカ、室内ノ熱氣甚シ、依テ今夜ハ長椅子ノ上ニ眠レリ

十七日

午前七時半ニ起キ、入湯シ甲板上ニ来レハ風力大ニ減シ天気快晴セリ、此時既ニ左方ニ陸地ヲ見タリ、是即チアラビヤノ地先ニシテ最早アデンニ近キタルコトヲ知レリ、今朝ハ昨日ヨリ少シク涼敷様感セリ、夫ヨリ暫時散歩シ朝飯ヲ喫シ、又甲板上ヲ散歩シ居ル内船ハ間モナクアデンニ着シ、陸地ヨリ一哩斗モ離レタル所ニ碇ヲ下セリ、此時既ニ十一時過ナリシ、甲板上ヨリ陸地ヲ見渡スニ、何所モ彼所モ焦土ニシテ一本ノ樹木ヲ見ス、然シ当地ハ英国ニテ押領シテヨリ欧州ト亜細亞トノ間ヲ通行スル船ノ寄港所トナシタレハ、近来ハ追々人口モ増加シ家屋杯モ可也ニ有リテ、此辺ニテハ最モ繁昌ナル所ナルヘシ、船ノ当所ニ着スルヤ、土人等ハ種々ノ物品ヲ携ヘテ船ニ来リ、頻リニ之ヲ売ウコトヲ勸メタリ、又土人ノ子供等モ沢山船ノ近所ニ来リ、水中ニ在テ頻リニ客人ニ金銭ヲ投与セシコトヲ勸メリ、之レハ金銭ヲ投与スレハ何レモ水中ニモグリ入捨ニ来レリ、其有様ハ寒ニ河伯ノ如シ、当所ニ滞在中龍動ヨリ電報ヲ以テ本店支配人小泉氏ノ死去セシコトヲ報シ来レリ、当所午後一時頃ニハ余ノ室ニテハ寒暖計八十二度ニテ日光ノ熱キコト殆ント焼クカ如クナリシカ、甲板上ニテ日蔭ニ在レハ、涼風吹渡リテ殆ント暑氣ヲ感セサル程ナ

リシ、午後二時過船ハ当所ヲ出帆シアデンノ島ヲ廻リ東南ニ向テ進行セリ、アデンハアラビヤノ陸地ニ接近シテ小島ニ在リテ、此島ハ英国ノ領分ナレハ砲台ノ建築アリタリ、此所ニテ最モ余ヲシテ憤涙ヲ出サシメタルハ、日ノ丸ノ旗章ヲ掲ケタル軍艦ノ当港ニ碇泊シ居ルナリ、該艦ハ即リ龍田号ニテ、過日英国政府ヨリ差押ヘラレタルモノナリ、余カ龍動ヲ出立スル頃聞キタルニハ、若シ日本ヨリ乗込人ト石炭トヲ用意スレハ、英国政府ハ出帆ヲ許ストノコトニナリタル趣キナレハ、必ス近日ノ内日本ヨリ日本ノ海軍人員ヲ送付シテ之ヲ出帆セシムルナラン、本船出帆後ハ一層逆風強クシテ、殆ント暑氣ヲ知ラサル程ナリシ、夕飯後ハカアドノ遊ヲ為シ、又甲板上ヲ運動シ十一時半ニ寝ニ就ケリ、昨正午ヨリ本日十一時過アデンニ着スル迄ニ船ハ三百一十一哩ヲ進行セリ

アデンノ予想ヨリ冷カリシ為メ、一句ヲ得タリ

「聞きしより涼しかりけりアデンかな」

十八日

例刻ニ起キ入湯シ甲板上ニ来レハ、天気ハ所々ニ班雲アリテ昨日程快晴ニハ非レトモ、逆風大ニ減シ甲板上ヲ散歩スルニハ丁度好適ナリ、夫ヨリ暫時運動シテ朝飯ヲ喫セリ、本日ハ終日海ノ中央ニ在リテ何モ見ルモノナク只運動ト読書トニ日ヲ送レリ、正午迄ニアデンヨリ二百八十一哩ヲ走レリ、夕飯後甲板上ヲ散歩シ椅子ニ寄り四方ヲ詠ムルニ、何モ見ルヘキモノナク唯見ユルモノハ星斗ノ爛漫タルノミ、依テ一首ヲ得タリ

「アラビヤの大海原ヲ詠むれハ星より外に見ゆるものなし」

十一時過ニ寝ニ就ケリ、今夜ハ少シク室内ニテモ涼カリケレハ床上ニ眠リタリ

十九日

例刻ニ起キ例之如ク入湯シ甲板上ヲ運動シテ朝飯ヲ喫セリ、本日ハ終日

逆風吹き熱二苦ムコトナカリシカハ大ニ運動ヲ為シ又讀書セリ、正午迄  
二三百四十七哩ヲ走レリ、夕飯後モ亦運動シカアドノ遊ヲ為シ、十一時  
ニ寝ニ就ケリ

二十日

例刻ニ起キ例ノ如ク運動シ朝飯ヲ喫セリ、本日モ終日好天気ナリ、午前  
ハ運動ト讀書ト二時ヲ消セリ、正午迄三百四十五哩ヲ走レリ、午後モ亦  
運動ト讀書ト二時ヲ移シ、夕飯後ハ又運動ヲ為シカアドヲ遊ヒ十一時ニ  
寝ニ就ケリ、此四五日ハ折節手足ニシビレヲ感シ其原因ヲ知ラス、何ヤ  
ラ氣ニ掛リタレトモ外ニハ別ニ異状ナレハ、先ツ其俣ニ為シ置キタリ

二十一日

例刻ニ起キ例ノ如ク入湯運動ヲ為シ朝飯ヲ喫シ、又甲板上ヲ運動シ日記  
ノ書取ヲ為シタリ、余ノ室内ニテハ此三四日ハ寒暖計昼夜共大凡八十度  
位ニテ随分熱カリシカ、常ニ逆風ノ吹続キシヲ為メ甲板上ニテ夫程ニ感セ  
サリシナリ、然シ日光ハ中々強クシテ連日ノ下ニ出ルコトハ出来サル  
ナリ、本日モ終日好天気ニ而大ニ運動スルヲ得タリ、正午迄三百三十五  
哩ヲ走レリ、夕飯後モ頻リニ運動シ又カアドノ遊等ヲ為シ十一時半ニ寝  
ニ就タリ

二十二日

午前七時ニ起キ例ノ如ク入湯シ朝飯迄甲板上ヲ散歩シ又讀書セリ、本日  
ハ午後二時過ニハ孟買へ着船ノ予定ナレハ、朝飯後ハ荷物ノ片付ヲ為シ  
籠動ノ中井氏へ書状ヲ認メタリ、今朝モ天気好ク着船ノ為メニハ都合能  
ケレトモ、室内ニテ既ニ八十度ノ熱ナレハ上陸ノ頃ニハ随分熱カルヘク  
ト思ヘリ、十一時頃ヨリ遙ニ陸地ヲ船頭ニ見、午後二時半頃孟買港ニ着  
セリ、同所ニ着スルヤ豊島氏始メ銀行ノ社員ハ船迄ニ迎ニ出向キ呉レ、  
万事同氏等ノ周旋ニテ都合能ク運ヒ直ニ上陸シテワツソンホテルト云旅

館ニ投宿セリ、此季節ニハ欧米ヨリ旅客ノ多ク当地へ来遊スルヲ為メ、  
何レノ旅館モ殆ント明室ナキ程ニテ、今回同船シタル者ノ内ニテモ旅館  
ノ明室ナキニ困リシ者沢山アリタレトモ、余ハ予テ豊島氏へ依頼シ越置  
タレハ、同氏ニ於テ一室約定シ置キ呉レタルヲ為メ直ニ投宿スルヲ得好都  
合ナリシ、夫ヨリ余ハ一休シ豊島氏ノ案内ニテ銀行ノ新店ニ到リ之ヲ見  
物シ、且ツ種々ノ要談ヲ為シ、又共ニ帰館シテ夕飯ヲ喫シ、夫ヨリ同行  
者并社員等同道ニテ海浜ヲ散歩シ、十一時過ニ寝ニ就ケリ、当所ニ着ス  
ルヤ留守宅ヨリノ書状ニ通并新聞紙ヲ受取りタリ、又小説本三冊受取り  
タリ

二十三日

午前七時半ニ起キ入湯シ椽側ニ出レハ好天気ニテ東風吹居タリ、今朝杯  
ハ少シモ熱ヲ感セサリシナリ、朝飯後豊島氏来訪ニ時間余銀行ノ要談ヲ  
為シ、夫ヨリ同館ニ滞在シ居ラル、呉領事ヲ訪ヒタリ、三井物産会社支  
店ノ連中ハ昨日来訪セラレタルニ付、為挨拶之ヲ訪ヒ、夫ヨリ豊島氏ト  
共ニ馬車ニテマルバルヒルト云所迄行キ、海岸并山手ノ景色ヲ見物セ  
リ、同所ハ市中ヨリ三四哩モアリ、其辺ニハ紳士ノ住宅沢山アリテ、同  
所ハ勿論途中ノ景色モ中々美ナリ、午後ニハ銀行ノ社員等一同訪ヒ来リ  
種々談話ヲ為シ、夫ヨリ一同連立テ海浜へ散歩ニ出掛ケ六時過ニ帰館  
シ、夕飯ヲ喫シ又近傍ヲ散歩シ十一時ニ寝ニ就ケリ、当地ノ要事ハ四五  
日ニテ済ムヘキ見込ナレハ、来ル廿七日出帆ノロセタ号ニテ帰途ニ就ク  
コトニ決定セリ

二十四日

午前七時半ニ起キ入湯シ朝飯ヲ喫シ銀行ニ行キ要事ヲ済シ、夫ヨリ土人  
ノ店ニ買物ニ出掛ケ昼頃ニ帰館セリ、今朝ハ七十八度位ニテ風ハ寒キ程  
ナリシカ、午後ニハ八十度以上ニナリ大ニ熱ヲ感セリ、午後ニハ豊島氏

ノ案内ニテタタ氏ノ店ヲ訪ヒタリ、然ルニ此節ノ休課ニテ主人并ニ長男ハ旅行中ニテ唯二男ニノミ面会セリ、夫ヨリ銀行ニ立寄シ豊島氏ト種々談話ヲ為シ、タタ氏店ノ者ノ案内ニテ同家ノ馬車ニテ所々市中ヲ見物シ七時頃ニ帰館セリ、夕飯後モ亦海浜ヲ散歩シ十一時ニ寝ニ就ケリ、小野氏ハ当所迄ハ中等客ニテ船中來リタレトモ、是ヨリハ熱モ強コト故余カ費用ヲ払ヒテ上等客タラシムルコトニ為セリ

二十四日<sup>(五カ)</sup>

今朝ハタタ氏ノ番頭ノ案内ニテタワル、ヲフ、サイレンスト称スルバアシイ人ノ死骸ヲ葬ル場所ヲ見物ニ行クヘキ約束ナレハ、午前七時ニ起キ待チ居タレハ豊島氏モ來レリ、其内番頭ハ馬車ニテ迎ニ來レハ兩人共之ニ乘リ出掛ケタリ、右場所ハ一昨日見物ニ行キタルマルバヒイルノ高丘ニ在リ広大ナル立派場所ナリ、而シテ其葬リ方ハ同所ニ四ヶ所ノ円形ニシテ高サ三十尺余、直徑<sup>(直徑)</sup>五六十間モアルヘキ石造ノモノアリテ、死骸ヲ其内ニ入レ鳥ニ喰シムルナリ、其鳥ハ鶯ニ類シタル一種ノ奇鳥ニテ其近所ニ数十羽居リテ、死骸ヲ其円形ノモノ、内ニ入ルレハ、其鳥直ニ集來シテ五六分時間ニ悉皆喰ミ尽ストノコトナリ、夫ヨリ所々乘リ廻リ十時ニ帰館シテ朝飯ヲ喫セリ、本日ハ豊島氏來リ銀行ノ事ニ付談話ヲ為シ、午後五時頃ヨリ社員一同并吳氏等ト共ニ当所ノ公園ノ見物ニ行キタレトモ、最早薄暮ニテ充分ニ見物スルヲ得ス、同所ニ飛居タル蝙蝠ハ其大ナルコト殆ト鴉程アリタリ、夫ヨリ土人ノ市街ヲ乘廻リ七時半ニ帰館セリ、土人ノ店ノ様子ハ殆ント支那人ノ店ト異ナルコトナク甚不潔ナリ、夕飯後ハ玉突ヲ為シ又近傍ヲ散歩シ十一時ニ寝ニ就ケリ、今日モ朝ノ内ハ七十五六度ニテ冷氣ヲ覺ヘタレトモ、午後ニハ八十度以上ニ登リ中々熱カリシナリ

二十六日

午前七時半ニ起キ入湯シ近傍ヲ散歩シ朝飯ヲ喫セリ、暫クスル内豊島氏來リ銀行ノ事ニ付種々要談ヲ為シ、午後ヨリ同氏并吳氏ト共ニエレフアントアイランドト称スル島ノ見物ニ行キタリ、同島ハ市中ヨリ汽船ニテ一時間半程ニテ行キ得ヘキ里程ノ所ニ在リテ小島ナリ、此島ニハ岩石ヲ切り洞穴ヲ造リプラマ宗ノ寺院トナシタル旧跡アリテ、多少破損シ居レトモ今尚ホ現存セリ、午後七時頃同所ヨリ帰り、今夕ハ銀行支店新設ノ祝ヲ為メ領事始メ三井物産ノ社員并タタ氏等ヲ招キ置キタレハ、其饗応ヲ為シ主客共ニ歡ヲ尽セリ、余ノ寝ニ就キタルハ十二時過ナリ

十七日<sup>(マ)</sup>

本日ハ当地出立ノ日ナレハ午前七時ニ起キ入湯シ荷物ノ支度ヲ為シ朝飯ヲ喫シ、小野氏ト共ニ八時半頃旅館ヲ出立シロセタ号ニ乗込ミタリ、同船迄吳領事并豊島氏等数名見送ニ來ラレタリ、日本ヨリ当所迄同道シタル松尾氏ト共此所ニテ別レタリ、夫ヨリ船ハ十時頃同所ヲ出帆セリ、全体孟買ハ毎年十一月頃ヨリ翌年ノ四月明迄ハ少シモ降雨ナキ由ニテ、余ノ滞在中モ一滴ノ雨ナシ、今朝モ快晴ニテ逆風ナレトモ差シタルコトナク又熱モ之レカ為メ大ニ凌能クアリタリ、孟買出帆後常ニ左方ニ陸地ヲ見又時々他船ニ行違ヒタリ、ロセタ号ハマリエンタル号ト殆ント同シ位ノ大キサニテ随分奇麗船ナリ、今廻<sup>(マ)</sup>ノ同船人ハ上等客十七八名ニテコロンボヤ迄行ク者多ク、日本迄直行スヘキ者ハ余等兩人ノミナリシ、本日ハ好天気ナレハ終日大ニ甲板<sup>(マ)</sup>上ヲ運動シ又留守宅ヨリ送付シ與レタル小説ヲ讀ミタリ、船ハ正午迄ニ二十八哩ヲ走レリ、夕飯後モ運動シ十一時ニ寝ニ就ケリ

二十八日

午前七時半ニ起キ入湯シ甲板上ニ來レハ、天氣ハ不相變快晴、風ハ少シク左方ニ転シ大ニ力ヲ増シタリ、昨夜ハ船室ノ窓ヲ開キタル俛眠ニ就キ

タレトモ、今朝三時頃ニ到リ冷氣ヲ感シタレハ之ヲ閉シテ又眠レリ、朝飯前暫時運動セリ、本日モ午前ニハ左方ニ陸地ヲ見タリ、又二三ノ汽船并数多ノ帆前船ニ行違ヒタリ、船ハ正午迄ニ三百三哩ヲ走レリ、午前ハ逆風ノ為メ涼カリシカ、午後ニ到リ風止ミ為メ大ニ熱氣ヲ増シタリ、然シ終日大ニ運動シ又読書セリ、夕飯後モ運動シテ十一時過ニ寝ニ就キタレトモ何分熱クシテ眠ルヲ得ス、又甲板上ニ来リ長椅ノ上ニ眠リタリ

二十九日

午前二時頃ト思フ頃ヨリ逆風吹出シ大ニ涼氣ヲ催シ来レハ船室ニ戻リ更ニ眠ニ就キ、七時半ニ起キ入湯シ甲板上ニ来リテ暫時運動シテ朝飯ヲ喫セリ、今日モ真ノ好天氣ニテ天涯一点ノ背ナシ、又本日ハ終日逆風吹通シタレハ熱氣ヲ覚ヘス、大ニ運動シ又読書セリ、明日コロンボヲヨリ出ス為メ豊島氏ヘノ書状ヲ認メタリ、本日モ左方ニ陸地ヲ見、正午迄ニ二百八十九哩ヲ走レリ、夕飯後モ運動シ十一時ニ寝ニ就ケリ

三十日

例刻ニ起キ入湯シ暫時甲板上ヲ散歩シテ朝飯ヲ喫セリ、午前十時頃コロンボヲ二着セリ、同所ニテハ船客大低去リテ又新キ船客乗込ミタレトモ大凡同シ位ノ人数ナリ、同所ニ七八時間滞在セシニヨリ上陸シテ所々見物センカト思ヒタレトモ、余リ暑氣ノ強カリシ為メ之ヲ見合せ、甲板上ニ在テ当所ニテ得タル新聞紙ヲ讀ミタリ、船ハ午後六時ニ同所ヲ出帆シタリ、今夕ハ順風ナレトモ風力ノ強カリシ為メ差シタル熱ヲ覚ヘサリシカ、十一時過船室ニ入りタレハ中々熱クシテ安眠スルヲ得サリシナリ、本日モ不相變大ニ運動セリ

三十一日

午前一時過ニ到ルモ眠ヲ得ス、再ヒ甲板上ニ来リ眠ヲ試ミタレトモ是亦眠ルヲ得ス、是全ク熱サノ為メノミナラス腸胃ノ為メナルヘク氣付キ又

船室ニ戻リテ就眠セリ、夫ヨリ午前七時半ニ起入湯シ暫時運動シテ朝飯ヲ喫セリ、昨日コロンボヲニテ土人等ノ赤裸ニテ居ルヲ見テ左ノ一句ヲ得タリ

「冬モ夏はたかて暮す牖龍坊」

本日ハ終日逆風吹キ居リ差シテ熱氣ヲ感セサリシモ又船ハ正午迄二百九十八哩ヲ走レリ、不相變終日運動ト小説読ニ時ヲ移セリ、夕飯後甲板上ニ来リ今夕ハ大晦日ナルコトヲ思出シ左ノ詩歌ヲ作レリ

「世の中の塵も烟も消へ失せて年の暮と八思へさりけり」

「帰り行旅路ハいと、急かれて年の暮而も惜まさりけり」

「大晦日知らずに越る印度洋」

「去年今夜在東城、送旧迎新事繁榮、孤客多情睡難就、唯聞激浪打

船戸」

明治二十八年一月一日

午前七時半ニ起キ甲板上ヲ運動シ朝飯ヲ喫セリ、今朝ハ雨模様ナリシカ遂ニ快晴シタレハ不相變運動セリ、本日ハ元日ナレハ左ノ口占アリ

「元日やなんしよて来か印度洋」

「旭日排雲報新正、茫茫蒼海吐春烟、四十四歳萍遊軀、印度洋中加一年」

正午迄ニ二百七十五哩ヲ走レリ、午後ニ到リ天俄ニ曇リ大雨ヲ来シ、夕方ニハ電光ヲ交ヘ降雨益甚シクシテ、一月元日トハ何シテモ思ハレサリシ、夕飯後船客等ハ音楽会杯ヲ催シ中々賑ナリシ、余ハ不相變運動ト小説読ニ時ヲ移シ、十一時ニ寝ニ就ケリ

一月二日 二十七日ニ至ル

昨夜モ熱サ強ク安眠ヲ得ス今朝ハ八時マテ眠レリ、夫ヨリ入湯シテ暫時



散歩シ朝飯ヲ喫セリ、今朝モ亦曇天ニテ熱サ強クボンヘイ出立後八日々八十度ヨリ九十度ノ熱サナリ、今朝ハ少々腹合悪カリシモ強テ運動セリ、風ハ不相変逆風ナレトモ中々熱シ、正午マテニ貳百七十九哩走レリ、午後モ亦運動ト小説読ミニ時ヲ消シテ、夕飯前ヨリ胃部痛ミヲ催シ困却セリ、夕飯後ニベフシンヲ服用シテ運動ヲ減シ休養セシカハ胃部ノ痛モ止ミ、十二時頃ヨリ安眠ヲ得タリ

三日

午前七時二起キ入湯シ甲板上ニ来レハ船ハ將ニ狭海ニ入ラントシ左右ハ青々タル連山ニシテ其風景甚タ妙ナリ、其右ニ見エシハサマツラ島ニシテ、其左ニ在リシハ一小島ナリ、正午マテニ貳百七十五哩ヲ走レリ、午後ニ至リテハ海幅広クナリテ殆ント左右ノ陸地ヲ見サリシナリ、午前ニ少シク雨降りタレトモ直ニ映晴シ余ハ不相変運動セリ、本日ニテ日本ヨリ送り呉レタル小説総テ読ミ尽セリ、本日モ腹合悪シ、夕飯後モ亦運動シ十一時半寢ニ就キタリ、今夕モ降雨電光アリテ甲板上ハ涼シカリシモ室内ハ中々熱カリシナリ

四日

午前七時二起キ入湯シ甲板上ニ来レハ陸地ハ船ノ頭ノ左右ニ見エタリ、夫ヨリ暫時運動シテ朝飯ヲ喫セリ、今朝モ室内ノ寒暖計ハ八十二度ナリシ、午前十時半ヘナンニ着セリ、余ハ小野氏並西洋人二名ト共ニ上陸シ、馬車ヲ雇ヒ同所ノ公園ヘ行キ市中ヲ乗り廻リ、ホテルニテ午飯ヲ喫シ三時半ニ帰船セリ、同所中ノ繁昌ナル町ニテ支那人ハ沢山居レリ、小田柿氏ヘ電信ヲ發シ明後シンガポールヘ行クコトヲ報知セリ、船ハ四時ニ同所ヲ出帆セリ、夫ヨリ六時頃迄ハ左右陸地ヲ見タレトモ午後茫々タル蒼海ノミ、夕飯前後共不相変運動シ十一時半ニ寢ニ就ケリ

五日

午前六時半ニ起キ甲板上ニ来テ暫時納涼シ夫ヨリ又寢ニ就ケリ、七時半ニ起キ入湯シ甲板上ニ来リ運動シ一休シテ朝飯ヲ喫セリ、今朝モ八十二度ナリシモ少シク雨降りタルタメ却テ熱氣ヲ増シタル如クニ感セリ、昨日午後四時ヘナン出帆後本日正午マテニ貳百三十三哩ヲ走レリ、本日モ終日好天気ナレバ頻リニ運動セリ、中井、豊島ノ両氏ヘ書面ヲ認メタリ、本日ハ左ノ方ニ陸地ヲ見ナカラ進行セリ、夕飯後モ不相変運動シテ十一時半ニ就ケリ

六日

午前六時半ニ起キタレハ船ハ早既ニシンガポール港中ニ在リ、余ハ入湯シテ甲板上ニ来レハ船ハ波止場ニ着セリ、小田柿氏並旧高等商業学校生徒タリシ友常氏ハ船マテ余ヲ迎ヒニ来テ呉レ、共ニ馬車ニテ小田柿氏等ノ住所ニ到リ朝飯ノ馳走ニナリ、夫ヨリ同氏ノ案内ニテ市中ヲ見物シ、再ヒ小田柿氏等ノ住所ニ歸リ午飯ニ日本料理ノ馳走ニナリ十二時ニ帰船セリ、小田柿氏ハ船マテ送り来レリ、烟草カフー等ノ買入并送附方ヲ小田柿氏ニ委託シ五磅ヲ渡シ置キタリ、船ハ十二時ヲ合図ニ直ニ出帆セリ、全体本日ハ終日シンガポール滞在ノ積リナリシナレハ公園ヲモ見物シ小田柿氏等トモ縷々閑話スル考ナリシニ、船ノ出帆早カリシタメ大ニ失望セリ、午後ヨリ時々雨降り風力モ大ニ増シ動揺甚シカリシ、然シ不相替午後并夕飯後共大ニ運動セリ、十一時半ニ就ケリ、本日ノ熱ハ八十度以上ナリ

七日

午前七時二起キ入湯シ下劑藥ヲ服シ甲板上ニ来レハ曇天ニシテ逆風強シ、朝飯マテ例ノ如ク運動セリ、午前十時頃ヨリ雨ヲ催シ風モ亦一層強クナリ船ノ動揺甚敷運動スルニ困却セリ正午迄ニシンガポールヨリ二百七十四哩ヲ来レリ、午後モ同様ノ天気ニテ殆ント甲板上ニ出ルヲ得サル

程ナリ、夕飯後ハ雨止ミタレハ又大ニ甲板上ノ運動シ十一時ニ寝ニ就ケリ

八日

午前七時半ニ起キ入湯シテ甲板上ニ来レハ雨止ミ風モ亦力ヲ減セリ、朝飯マテ運動セリ、正午迄ニ二百三十三哩ヲ走レリ、本日ハ終日好天ニテ運動ト小説讀ミニ時ヲ移セリ、夕飯後モ好天氣ナリケレハ運動シ十一時ニ寝ニ就ケリ

九日

昨夜ハ熱サヲ感セスシテ安眠セリ、午前七時半起キ入湯シ甲板上ニ来レハ船ハ安南ノ海ヲ進行シツ、アリテ五六哩ノ所ニ陸地ヲ見タリ、余ハ不相變運動シテ朝飯ヲ喫セリ、本日ハ終日好天氣ニテ午前午後共大ニ運動セリ又小説ヲ讀ミタリ、正午迄ニ二百五十六哩行キ他ノ汽船并帆船等ニ行違ヒタリ、夕飯後モ亦散步シ十一時ニ寝ニ就ケリ

十日

午前七時半ニ起キ入湯シ甲板上ニ来レハ曇天ナリ、昨日運動ヲ過シタルタメカ足部ニ少シ痛ヲ感シタレハ歩行運動ヲ止メ他ノ運動ヲ為シタリ、終日曇天ナリシカ雨降ラス風モ差シタルコトナク好適ナリシ、正午迄ニ二百八十八哩走レリ、午前午後共種々ノ運動シ小説ヲ讀ミタリ、夕飯後モ亦運動シ十一時寝ニ就ケリ

十一日

午前七時半ニ起キ入湯シ甲板上ニ出テ朝飯マテ運動セリ、今朝ハ曇天ニシテ大ニ冷氣ニナリ余ノ室内ニテ七十四度ナリシ、正午迄ニ二百六十六哩ヲ走レリ、午前午後共運動セリ、午後七時半香港ニ入り波止場ヨリ一哩程午前ニ碇泊セリ、夜分ノコトナレバ今夕ハ上陸ヲ止メ、十一時半頃船中ニテ寝ニ就ケリ

十二日

午前七時ニ起キ入湯シテ甲板上ニ出レハ船ハ既ニ波止場ニ着シ居レリ、九時ニ朝飯ヲ喫シ夫ヨリ上陸シテホコンホテルニ投セリ、夫ヨリ小野氏ヲ伴ヒ三井ノ店ヲ訪ヒ又領事館ヲ訪ヒ一時ニ帰館シ午飯ヲ喫セリ、本店へ電信ヲ出シ市中ヲ散歩セリ、当所ハ予想ヨリ戦争ニ関シテハ平穩ニシテ支那市ニ行キテモ別ニ危険ナキ様ナリ、領事館中川氏ヨリ夕飯ニ招カレ、午後六時半ニ同館ニ至リ(小野氏ヲ伴ヒ)三井物産会社ノ連中ト共ニ馳走ニナリ十時過キ帰館セリ

十三日

午前八時ニ起キ朝飯ヲ喫シ市中ヲ散歩シ買物ヲナシタリ、本日ハ午後ヨリ当地ノ山頂ニ登ル筈ナリケレトモ降雨ノ為メ見合セタリ、三井ノ福井氏ヨリ夕飯ノ招ヲ受ケ、五時頃ヨリ同氏宅へ行キ日本料理ノ馳走ニナリ十時半帰館セリ、本日シンガポールノ土野井小田柿氏並ニ孟買ノ豊島氏へ書状ヲ出セリ

十四日

午前七時半ニ起キ朝飯ヲ喫シ、余ハ領事館ヲ訪ヒ一時頃ニ帰館セリ、アシコナ号ハ今朝日本ヨリ来着セリ、今朝モ曇天ニテ時々降雨セリ、午後ニハ新聞紙ヲ讀ミ三井ノ店ヲ訪ヒ市中ヲ散歩セリ、夕飯後ハ雨天ニテ外出ヲ得ス、館内ニテ運動シ新聞ヲ讀ミ十一時過キニ寝ニ就ケリ

十五日

午前七時半ニ起キ朝飯ヲ喫シ、今夕招客ノ用意ヲナシ、夫ヨリ三井物産会社ノ團氏ノ案内ニテ当市背後ノ山頂ニ登リタリ、其之レニ登ルニハ途中ヨリ椅子駕籠ニ乗り支那人二名ニテ之ヲ担クコトナリ、絶頂ヨリハ当市ハ眼下ニアリテ当港及四方ノ山嶽ヲ見、景色実ニ妙ナリ、折悪シク霧雨ヲ催シ又寒氣ヲ増シ来レハ同所ノホテルニテ一休シテ、山下ニ時半

二帰館セリ、夫ヨリ午飯ヲ喫シ再ヒ団氏ノ案内ニテ小野氏ト共ニ当所ノ競馬場ヨリ海辺ヲ三哩モ行キ六時半ニ帰館セリ、余リ疲労シタルタメカ帰館スレハ手足冷ヘテ頭痛ヲ感シケレハ、温湯ニテ手足ヲ暖メ暫時休息セリ、其内兼テ案内シ置キタレバ領事并福井氏等夫々來臨セシニ付、不得止押テ起キ夕飯ノ饗心ヲ為シタレトモ、何分余ノ不快ナリシタメ充分ニ行届カス遺憾ナリ、客去リテ後暫時室内ニテ運動シ十一時寝ニ就ケリ十六日

午前七時半ニ起キ朝飯ヲ喫シタルニ、朔日ヨリ気分宜シケレバ市中ノ第宅アル処ヲ散歩シ、仏国銀行ヲ訪ヒ支配人ト談話シ十二時頃ニ帰館セリ、福井氏ヨリ明晩夕飯ノ招ヲ受ケタリ、午後小野氏ト共ニ公園ヲ散歩セリ、同園ハ狭小ナレトモ中々奇麗ナリ、五時頃帰館シ夕飯マテ新聞紙ヲ読ミタリ、夕飯後散歩ニ出掛タレトモ降雨頻ナレハ直ニ帰館、内ニテ運動シ十一時ニ寝ニ就ケリ、今夕ハ腹合患敷加養セリ十七日

午前七時半ニ起キタレハ腹合少シク宜シ、朝飯後小野氏ト共ニ領事館ニ行キ暇乞ヲナシ、帰途散歩シテ一時半ニ帰館セリ、午後三時ヨリ仏国銀行ヲ訪ヒ支配人ト要談ヲ為シ、夫ヨリ又市中ヲ散歩シ一旦帰館シ、六時ヨリ福井氏之宅ニ行ケリ、今夕ハ支那料理ノ馳走ニテ同氏方ハ招カレタレハ腹合ノ悪シキニ随分閉口ナレトモ無抛行キタリ、領事館員并三井物産会社々員等來集中々賑カナリシ、十一時ニ帰館シ直ニ寝ニ就ケリ十八日

午前七時半ニ起キ出立ノ支度ヲナシ朝飯ヲ喫シ新聞紙ヲ讀ミ、十一時ニ汽船アンコナ号ニ乗込タリ、此時中川領事、福井氏等ヲ初メ七八名見送りノ為メ船迄來リ呉レタリ、船ハ十二時ニ出帆セリ、天気ハ曇天ナレトモ差シタル風モナク好都合ナリシ、船客ハ上等ニ余等二人ノ外ニ七名ニ

シテ、其ノ二人ハ当地迄同船シタル英国ノ日本公使館ニ行ク男女ノ兄弟ナリ、中等ニハ三井物産会社ノ社員二名モ乗込ミタリ、甲板上ハ向ヒ風ニテ随分寒カリシカ不相替運動シ午後十一時ニ寝ニ就ケリ、香港ヲ出テ大海ニ出ツル迄ノ景色ハ甚タ妙ナリ、又当地戍營ノ英国兵隊ハ一兩日前ヨリ仮戦訓練ヲ始メ所々ノ山上ニテ砲声ヲ為セリ、又所々ノ山間ニテントヲ見タリ

十九日

午前七時半ニ起キ入湯シテ散歩シ朝飯ヲ喫セリ、今朝ハ雲間ヨリ時々日光ヲ見タリ、風ハ矢張逆風ナリ、午前モ不相替運動シ且小説ヲ讀ミタリ、午前二ハ時々左方ニ島嶼又ハ陸地ヲ見、右方ニモ一兩度島嶼ヲ見タリ、正午マテニ二百二十八哩走レリ、午後モ曇天ニシテ逆風ヲ増シタレトモ差シタル降雨ナシ、然シ寒氣ハ追々増加セリ、不相替運動シ小説ヲ讀ミ日記ノ書取ヲ為シタリ、午後二モ左方ニ島嶼ヲ見タリ、夕飯後モ不相替運動シ十時ニ寝ニ就ケリ

二十日

例刻ニ起キ入湯シテ甲板上ニ來レハ逆風甚強クシテ時々降雨ヲ來セリ、暫時運動シ朝飯ヲ喫セリ、午前午後共ニ曇天ニシテ時々降雨、風ハ逆風ニテ随分強ク從テ船体ノ動揺モ中々強カリシ、余ハ終日運動ト小説讀ニ時ヲ移セリ、夕飯後モ同様ノ天気ニテ更ニ快晴スヘキ模様ナシ、余ハ矢張無得運動ト小説讀ニ時ヲ送り十時過ニ寝ニ就ケリ、本日船ハ二百三十三哩走レリ

二十一日

例刻ニ起キ入湯シ暫時運動シテ朝食ヲ喫セリ、午前午後共運動ト小説讀ミニ時ヲ移セリ、本日モ終日曇天ニテ逆風強ク正午マテニ二百三十五哩ヲ走レリ、夕飯後モ不相替運動ト讀書十一時過ニ寝ニ就ケリ

二十二日

例刻二起キ入湯シ甲板上ニ来レハ、風止ミ雲切将ニ快明セントスル景色ナリ、暫時運動シ朝飯ヲ喫シ再ヒ甲板上ニ来レハ曇天ニテ微雨ヲ催セリ、二百四十八哩ヲ走レリ、午後モ曇天時々降雨アリ、四時頃左方ニメ島ヲ見タリ、午前午後共不相変運動シ小説ヲ讀ミ或ハ日記ノ書取ヲ為セリ、夕飯後モ不相替運動シ十一時ニ寝ニ就ケリ

二十三日

午前七時半ニ起キ窓外ヲ望メハ船ハ既ニ長崎港ニ入リテ碇泊セリ、夫ヨリ入湯シ朝飯ヲ喫シ小野氏ト共ニ上陸シ本店及神戸支店並留守宅ヘ電信ヲ出シ、夫ヨリ市中ヲ徘徊シ海方公園ニ到リ帰途迎陽亭ニテ午飯ヲ喫シ三時半ニ帰船セリ、船ハ四時半ニ出帆セリ、本日ハ終日好天気殊ニ暖クシテ上陸スルニ好都合ナリシ、同港ニハ目下露ノ軍艦四艘ト仏ノ軍監<sup>(軍監)</sup>ニ艘ヲリタルノミ、日支戦争ノ模様モ日軍チイフウヲ攻撃シタリトノ風説アリタレトモ確ト分ラス、出帆後ハ風景ヲ見ナガラ運動シ十時半ニ寝ニ就ケリ、昨日ヨリ風邪ノ気味ニテ咽喉ニテ痛ヲ催セリ

廿四日

午後七時半ニ起キ甲板上ニ出テシニ船ハ丁度馬関ヲ通行スル処ナリシ、門司ノ方ニハ数艘ノ汽船碇泊シ居タレトモ馬関ノ方ニハ二三艘シカ見ヘサリシナリ、昨夜ハ余程降雨アリタル様子ナレトモ今朝ハ止ミ居タリ、夫ヨリ朝飯ヲ終リ再ヒ甲板上ニ来レハ雨ヲ催シ可惜風景ヲ妨ケタリ、此辺兩岸ノ高山ニハ白雪ヲ来シ景色甚妙ナリシ、本日ハ終日景色ヲ望ミナガラ甲板上ヲ運動シ又小説ヲ讀ミタリ、風邪ノ気味ナリケレハ夕飯後モ運動シ早ク寝ニ就ケリ、昨日ノ出帆ヨリ百八十一哩ヲ走レリ

二十五日

昨夜ハ寒氣強ク今朝ハ夫レカ為メ眠リ得ザリシ内、船ハ午前六時頃ニ神

戸ヘ到着シ七時過ナレハ最早起キントシ居ル処ヨリ銀行ノ社員等ヨリ扨起サレ、直ニ衣服ヲ着ケ茶ヲ飲ミ、社員等ト共ニ上陸シ改良亭ニテ社員等ト共ニ朝飯ヲ喫シ、夫ヨリ銀行ニ行キ高木、杉山氏等ト銀行ニ関スル要談ヲ為シタリ、夫ヨリ高木氏ト共ニ諏訪山ニ到リ午飯ヲ喫シ、徳田氏ノ未亡人ヲ訪ヒ、一旦銀行ニ歸リ四時半帰船セリ、社員等ハ又船マテ見送り呉レタリ、船ハ午後六時ニ出帆セリ、出帆スルヤ間モナク夕飯ニナリタレハ景色ヲ見物スル間モナク日暮レタリ、余ハ不相替運動シ十時半ニ寝ニ就ケリ、龍動ヨリ持參シタル五十磅ノ為換手形並五十磅ノ銀行手形ヲ支店ニテ引替ヘ、其五十磅ノ變り金ヲ東京第百銀行渡リノ手形ニナシ、残余ヲ現金ニテ受取り、其内百円ヲ菊石氏ニ預ケ留守宅并ニ海外支店ヘ送付スル清酒買入并送附ノコトヲ依頼セリ(本店並留守宅ヘ電信ヲ出セリ)

廿六日

風邪モ追々快方ナレハ午前八時ニ起キ入湯シ朝飯マテ運動セリ、寒氣ハ強ケレトモ今朝ハ快晴ナリ、昼頃一時微雨ヲ催シタレトモ暫時ニシテ晴レタレハ終日景色ヲ見ナカラ運動セリ、午後六時下田ノ洋ヲ通行セリ、正午頃ニ二百十二哩ヲ走レリ、夕飯後モ不相替運動シ十時半ニ寝ニ就ケ

二十七日

午前六時ニキタレハ船ハ今將ニ進行ヲ止メントスル時ナリ、夫ヨリ支度ヲナシ居ル中ニ船ハ港内ニ着シ、銀行社員等数名舟マテ出迎ニ呉レ、共ニ小汽船<sup>(船)</sup>ニテ上陸シタレハ、同所ニ社員等出迎居リタリ、夫ヨリ税関ノ手續ヲ済シ直ニ汽車ニテ帰京セントセシ所ヘ、東京ヨリ妻陸来ルヘキ電報アリタレハ一応西村屋ヘ引取り、同人ノ来ルヲ待チ九時五十分ノ汽車ニテ帰京セリ、新橋ニ着スルヤ父上小供并知友等待居ラレ、久々ニテ

面会シ共ニ無事ヲ祝シ又同所ニテ園田氏へモ面会シ夫ヨリ帰宅セリ、午後ニハ大東氏其他知友等来訪セラレタリ、本日ハ横浜ニ上陸スルヤ少シク眩暈ヲ感シタレハ健康如何ト気遣タレトモ、差シタルコトナケレハ夕飯ニハ出迎ヒ呉レタル知人等ト一盃ヲ傾ケ、午後十一時ニ寝ニ就ケリ

日時	滞在地	主な面会した人物	備考
1894/4/13	横浜→	妻木、園田、原、森村、河瀬など	「フーシャニク号」に乗船
4/28	→サンフランシスコ	珍田領事など	
5/10	サンフランシスコ→		
5/16	→ニューヨーク	「コロネル・ライト」など	ニューヨーク滞在中、「コロネル・ライト」を中心にかつて留学した際に知己を得た人々と再会
6/3	ニューヨーク→ワシントン D.C.	建野公使、宮岡恒次郎書記官、「スチュワルト上院議員」、「ウアイラス上院議員」、「テーロル上院議員」など	ワシントン D.C.では銀貨問題について質疑、ほかに公使館、米国大蔵省、上院、労働監督局、地理局、統計局などを訪問
6/6	ワシントン D.C.→ニューヨーク		
6/23	ニューヨーク→		「エトリリア号」に乗船
6/30	→ロンドン	林領事、「シヤンド」など	8月28日より9月2日にかけて、「シヤンド」の家族や林と共にスコットランドのエディンバラへ旅行
9/7	ロンドン→パリ	宮川領事など	
9/11	パリ→リヨン		
10/5	リヨン→ジュネーブ		
10/7	ジュネーブ→		
10/8	→ベルリン	青木公使など	
10/11	ベルリン→		
10/12	→ロンドン	「シヤンド」、「フレイザル」など	ロンドン滞在中に英蘭銀行、英国郵便電信本局、英国造幣局、商業会議所などを訪問
12/4	ロンドン→		仏領「カレイス」からは眠車
12/7	→プリンデシ		
12/9	プリンデシ→		「ワリエントル号」に乗船
12/22	→ボンベイ		
12/27	ボンベイ→	呉領事など	「ロセタ号」に乗船
1895/1/11	→香港	団(三井物産)、領事など	
1/18	香港→		「アンコナ号」に乗船
1/27	→新橋	園田	帰京

「巡回日記」の期間における、主な相馬の足取りと面会した人物

【凡例】

- ・地名は原則として現在の名称に改めた。
- ・外国人の名前は「巡回日記」の記述に準じた。
- ・「→」は、汽車、船などの移動経路を表している。

### 《解題》相馬永胤「巡回日記」

本稿は、専修大学創設者の一人である相馬永胤が記した「巡回日記」を翻刻して紹介する。「巡回日記」は其一から其四までであるが、其一と其二の過半はすでに紹介した<sup>1)</sup>。本稿では残部の翻刻と共に、史料のあらましについても紹介したい。なお相馬の略歴については前号の最初に説明しているので省略する。

### 「巡回日記」作成の背景

一八九四(明治二十七年)年四月十三日から翌年の一月二十七日までの間、相馬は横浜正金銀行ボンベイ支店へ赴任する予定の「松尾吉士」を連れて世界一周の旅を行っている。行程を簡潔にまとめると、相馬たちはまず太平洋を渡りアメリカへと向かった。そして六月二十三日よりニューヨークから大西洋を越えてイギリスへ向かい、九月から十月にかけてフランス、スイス、ドイツを歴訪している。その後一旦イギリスに戻り、十二月四日にイギリスからイタリアへ向けて汽車で移動した後、再び船に乗り地中海、紅海、インド洋を経て、ボンベイと香港に立ち寄った後に日本へと帰還している。この「巡回日記」は、この期間中に相馬が書き残した日記である。

この間相馬は、アメリカでは一八七一年からの留学当時の旧交を温めたほか、以後も訪れた各地で名所旧跡を観光している。また折に触れて漢詩や短歌を詠んでおり、こうした点からこの旅の期間は相馬にとって「生涯をつうじて最良の日」ともされる<sup>2)</sup>。しかしこの旅の本来の目的は、横浜正金銀行の海外支店や出張所の検査並びに海外各地の商業状況、そして銀貨問題の調査を行うことであった<sup>3)</sup>。ここでいう銀貨問題とは、この時期急速に銀貨の価値が下落し、金貨との価値の差が大きく

なったことを指している。その要因として、十九世紀中頃より銀の産出量が増加したことや、一八九三年にインド政府が銀貨の自由鑄造の廃止に踏み切ったことなどが挙げられる<sup>4)</sup>。当時日本は金銀複本位制の下、貿易決済には銀貨を使用していたため、銀価の下落は日本の購買力の低下を意味していた。こうした情勢は、外国為替を担っていた横浜正金銀行にとっても重大な問題と認識されていたと考えられる。最終的に日本は日清戦争の賠償金を用いて金本位制を確立することとなるが、この銀貨問題はその過渡期に生じた問題であるといえよう。この問題を「巡回日記」と関連させて述べると、相馬はワシントンD.C.に滞在した期間中、議員など多くの関係者と面会し、銀貨問題について質疑を行っている。この銀貨問題だけでなく、アメリカやヨーロッパ諸国、そして香港に滞在している間、相馬は各地の商況について、横浜正金銀行各支店の検査や他行の支配人との会談を通じて調査を行っている。「巡回日記」を読むことで、この期間中の相馬の具体的な足取りを知ることができるだろう。

最後に「巡回日記」の書誌情報をまとめると、現在「巡回日記」は、専修大学大学史資料課が所蔵する「相馬家文書」の中に収められている。相馬家文書の中には相馬本人が旅行中に書き記したものと、この原稿を底本にして清書したと推測されるものと二種類の「巡回日記」が存在する。しかし清書版の「巡回日記」は、筆跡からおそらく相馬本人ではなく第三者が書き写したものと推測され、内容も明らかな誤字が確認された。そのため今回翻刻したものは、相馬が直接記した「巡回日記」を底本とした。原本は其一から其四までであり、墨書の巻紙二十一卷、ペン書の便箋六枚、ペン書の紙十一枚によって構成される。其一が巻紙四卷、其二は巻紙五卷、其三は巻紙五卷、其四は巻紙七卷とペン書

の便箋六枚、ペン書の紙十一枚に書かれている。

### 相馬が出会った人物たち

ここからは、「巡回日記」の内容についてふれていく。まずはこの期間中の相馬の交際関係について述べる。一二頁に掲げた表は、旅の大きな行程とこの期間中に誰と面会したのか主要な人物をまとめたものである。この表中において特に注目すべき人物について紹介したい。

まず、横浜正金銀行に関連した人物について取り上げる。相馬が旅に出た一八九四年四月十三日に面会した人物の多くが、横浜正金銀行の関係者である。「妻木」は、一九〇四年に横浜正金銀行本店の設計を行うこととなる妻木頼黄のことと推測される。「園田」、「原」、「河瀬」とは、当時横浜正金銀行頭取であった園田孝吉と、園田の前に横浜正金銀行頭取を務めた原六郎、そして同じく横浜正金銀行の取締役を務めた河瀬秀治のことであろう。「森村」とは、森村財閥の創始者である森村市左衛門のことと推測される。森村は明治維新後に国産工芸品の輸出を行う森村組を設立しており、相馬はアメリカ到着後の六月十三日、七月四日に森村組の社員と面会している。なお表中の出会った人物には含まれないが、相馬は旅先でもたびたび日本からの郵便物を受け取り、留守宅や横浜正金銀行の重役たちと手紙のやり取りを行っている。特に手紙のやり取りが多かったのは、正金銀行頭取の園田との間であった。

次に外国人について取り上げたい。まずアメリカではニューヨーク到着後の五月二十四日に「コロネル・ライト」と面会している。「コロネル・ライト」とは、相馬が一八七四年から一年余り在学した、ピークス・ミリタリー・アカデミーという私立学校の経営者である。相馬自身の回顧録によれば、相馬は旧主となる井伊直憲の弟である井伊直達と

石黒太郎と共にこの学校へ入学し、ここで英語、英文を中心に一通りの学科を修めたようだ<sup>6</sup>。相馬はこの「コロネル・ライト」以外にも、ニューヨーク滞在中に多くのアメリカ留学時代の知人たちと再会している。

その後相馬は上述したように銀貨問題について調査するため、六月三日から六日にかけてワシントンD. C. を訪問している。ここで相馬は大蔵省、労働監督局、地理局、統計局など多くの銀貨問題の関係省庁へ足を運び、アメリカにおける金銀産出高や労力賃などについて質疑を行っている。さらに相馬は銀本位制、金本位制それぞれを支持する主だった政治家とも面会している。「巡回日記」中に具体的に名前が挙げられているのは「スチュワルト」、「ノウアイラス」、「テール」の三名である。この三名はいずれも上院議員であり、「スチュワルト」と「テール」は銀本位制の支持者で、「ノウアイラス」は金本位制の支持者であるという。彼らとの会談の要点について、相馬は六月五日の日記で以下のようにまとめている。具体的には

- ・アメリカにおける昨年中の銀の産出高のうち、三分の二が六月までの産出量で、三分の一が七月以降の産出量であること
- ・報告書にある昨年の産出高中には、前年度の残りがいくらか参入してあること
- ・一八九四年一月より四月までの四ヶ月間の銀産出高は昨年より三割五分から三割七分減少しており、本年の総産出高は昨年より大分減少するであろうこと
- ・この状態では、銀価が米金六十五セント以下となればその産出高を減らすべきであること
- ・現在純粋な銀鉱は少なく、多くは金か鉛を含む銀鉱であること



・ 銀本位制、金本位制どちらの推進者も、「乃国同盟金銀両本位」を希望していること

・ 銀本位制の推進者たちは、「乃国同盟金銀両本位」が行われないうちは、アメリカは銀本位制を採用しつつ銀貨の自由鑄造を行うことを考えていること。しかし現大統領の「クレヴランド」在職中は自由鑄造が行われないと考えていること

・ 次の大統領選挙においては、銀貨問題に依ってその人選が行われるであろうこと

である。「巡回日記」中でこれだけ詳細な記述がなされているのはこの箇所だけであり、相馬が銀貨問題に対して強く関心を持っていることが伺えるだろう。なお、相馬は銀貨問題に関しては「金銀貨幣問題について」と題する原稿を執筆しているほか、この世界一周から帰国した後は、その成果を「欧米ニ於ケル経済上之変動」として横浜正金銀行や大蔵省に提出していることを付記しておく<sup>7)</sup>。

また、相馬が面会した人物のうちもっとも著名な人物の一人が、七月四日から十二月二日にかけてたびたび面会している「シヤンド」である。「シヤンド」ことA. シヤンドは、イギリス出身の銀行家で一八七二(明治五)年にお雇い外国人として大蔵省へ招聘されている人物である。彼は日露戦争中に行われた日本の外債募集に際し、高橋是清に多くの有力な金融業者を紹介したことでつとに知られるが、このシヤンドと相馬は古くから面識を得ており、この「巡回日記」でもその交友を伺うことができる。例えば八月二十八日から九月一日までシヤンドの案内で共に旅行へ出かけているほか、十一月七日には彼が持つ銀行の取締役である「フレイザル」を紹介されるなど、相馬は彼から多くの便宜を図ってもらっていた。

## 日清戦争と「巡回日記」

相馬が世界一周を行った一八九四年から一八九五年にかけて、日清間で日清戦争が勃発することとなる。相馬の日清戦争への言及を見てみると、七月二日に日清両国が朝鮮半島へ軍隊を派遣したことに触れ、「日支間ニ葛藤ヲ生セントスル旨ノ電報ヲ見ミ大ニ杞憂ヲ生セリ」と記している。さらに八月二日には「全体今回日本カ朝鮮へ出兵セシハ日本人保護ノ為メナレハ固ヨリ当然ナレトモ、之ヲ機トシテ支那ト戦争ヲ求ムルニ到リテハ、其名義ノ何タルハ知ラサレトモ日本ノ為メ大ニ不利益ナリト信ス」と述べており、清との戦争の前途に強い不安を持っていることが伺える。しかしその後、戦局が日本側に有利に進展すると相馬の心配は解消され、以後は日本軍勝利の報道を聞くたびに横浜正金銀行の社員たちと祝杯をあげる様子を記すようになっていく。

また同じ八月二日の記述において、イギリスにおける日清戦争への反応についても記されている。それによると当時イギリスでは、日本海軍の巡洋艦「浪速」によってイギリス船籍の商船が撃沈された高陞号事件のため、日本に対する反発が高まっていた。そのためイギリスでは「新聞紙上ニ日本ニ対スル悪口ヲ置キ立テタルヲ見」ることとなり、これに対して相馬は「不快ニ堪ヘサルナリ」と記している。

ほかには十月二十四日と二十六日、それから十一月二十四日から二十六日にかけて旅順攻略戦について言及がなされている。それによると、相馬たちは十一月二十四日付の新聞電報欄によって旅順陥落を知り、そして二十六日には新聞に旅順攻撃の詳細が記されていることが述べられている。「巡回日記」中ではその報道内容について言及されていないが、旅順においては日本軍による虐殺行為が発生し、欧米の諸新聞によってそれが告発されている。あるいは相馬は、日清戦争にそそがれる

列強の視線を強く意識し、旅順の状況を気にかけていたのかもしれない。

その後相馬は帰国に際して、一八九五年一月十一日に香港に立ち寄り上陸している。これはまだ日清戦争が継続されている期間中ではあるが、香港近辺では戦争の影響はほとんど見られなかったようだ。相馬は香港の様子を「当所ハ予想ヨリ戦争ニ関シテハ平穩ニシテ支那市ニ行キテモ別ニ危険ナキ様ナリ」と記している。

このように「巡回日記」から、相馬が日清戦争前後に横浜正金銀行の幹部としてどのような行動を取っていたのか、その詳細を把握することができらるだろう。この時期の相馬の足跡については、大学に関連した『専修大学百年史』や横浜正金銀行に関連した『横浜正金銀行史』においても、十分に言及されているとはいえない。この日記の翻刻が、当該期の相馬の足跡を明らかにする一助となれば幸いである。

1 其一と其二の翻刻については、『専修大学史紀要』（膳栄社、二〇一二年）第四号を参照のこと。

2 専修大学編『相馬永胤伝』（専修大学出版局、一九八二―三三三頁、ただし、相馬自筆の回顧録である『相馬永胤翁懐旧記』（専修大学大学史資料課蔵）においては、この世界一周については「其他ノ要務ヲ帯ヒ再度欧米ヘモ出張セシ事アリ」としか述べられていない。なお、『相馬永胤伝』においてこの世界一周のことは第十一章で取上げられており、行程の概要がまとめられているほか、「巡回日記」の原文が一部引用されている。

3 『横浜正金銀行史』（西田書店、一九七六）一五〇頁

4 銀貨問題に関しては、日比野重郎編『外国為替と銀貨問題』（新開

堂、一八九三）や前掲『復刻 横浜正金銀行史』を参考にした。

5 「巡回日記」の記述中には、たびたび日記の書取りを行っていることと、それを留守宅へ郵便で送っていることが記されている。今回原本として用いた「巡回日記」は、相馬が旅先から自宅へと送ったものと推測される。

6 『相馬永胤翁懐旧記』より。

7 「金銀貨幣問題について」と「欧米ニ於ケル経済上之変動」はどちらも、現在「相馬家文書」（専修大学大学史資料課蔵）に収蔵されている。

付記

相馬永胤「巡回日記」の解説は、二〇一一年度後期と二〇二二年度前期に、大谷の担当する大学院演習でおこなった。参加者は、二〇一一年度は磯部国良、鈴木慎哉、古幡絵里奈、益満隆行、二〇二二年度は鈴木、益満であった。解説は益満が執筆した。鈴木は詳細な行程表を作成したが、紙幅の関係でそれを整理したものを掲載した。